

**fiery Spark**

Fiery Spark Professional  
PS ソフトリップ PRO

v1.0

印刷ガイド

LP-8800C 対応





Copyright 2001 年 Electronics For Imaging, Inc.  
All rights reserved.

本書は著作権により保護されており、著作権に関わる全ての権利が留保されています。Electronics For Imaging, Inc. の書面による承諾がない場合は、本書で許可が明示してある場合を除き、目的、手段を問わず本書のいかなる部分も、その複写や伝達を禁じます。本書の内容は予告なしに変更することがあります。また、Electronics For Imaging, Inc. はその内容についての責任を表明するものではありません。

本書で説明するソフトウェアは使用許可にもとづいて提供され、使用許可条件に従って使用または複製する場合に限り許可されるものとします。

Patents: 5,867,179; 5,835,788; 5,666,436; 5,553,200; 5,543,940; 5,537,516; 5,517,334; 5,506,946; 5,424,754; 5,343,311; 5,212,546; 4,941,038; 4,837,722; 4,500,919; D406,117

#### 商標

EFI、EFI ロゴ、Fiery、Fiery ロゴ、Fiery Driven、Fiery Driven ロゴ、EFICOLOR、ColorWise、Rip-While-Print は Electronics For Imaging, Inc. の米国での登録商標です。Fiery Spark、Command WorkStation、AutoCal、Starr Compression、Memory Multiplier、NetWise、VisualCal はいずれも Electronics For Imaging, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、PostScript、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では登録されています。Apple、Apple ロゴ、AppleShare、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、MS、MS-DOS、Windows は米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。

その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があり、本書により承諾されています。

#### 法律上の注意

Apple Computer, Inc. (以下 Apple 社) は、Apple ソフトウェアに関して、特定の目的に関する商品性や適合性についての黙示的保証を含み、明示的、黙示的を問わず何らの保証もしません。Apple 社は、Apple ソフトウェアの使用あるいは使用結果の正確さ、精度、信頼性、最新性、その他の保証をしません。Apple ソフトウェアの結果や性能に伴うリスクはすべてお客様の負担とさせていただきます。黙示的保証の適用除外は米国の州によって認められない場合があります。お客様にはこのような適用除外条項は適用されないこともあります。

Apple 社の役員、管理職、一般社員、代理人は、Apple 社のソフトウェアを使用した結果や使用できないことによって、お客様に、結果的、付随的、あるいは間接的な損害（業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の損失、その他の損害）が引き起こされた場合、仮にそのような損害の可能性について Apple 社が知らされていたとしても、それに対する責任は負いません。米国の州によっては結果的または付随的損害の責任の適用除外や制限が認められない場合があり、その場合は、上記の制限条項がお客様に適用されないこともあります。

いかなる原因であれ、実際の損害についてのお客様に対する Apple 社の責任は、行為の形態に関係なく（契約違反、不法行為（過失など）、製造物責任、その他）50 ドルを上限とします。

#### 限定権利条項（米国においてのみ適用）

防衛機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 252.227.7013 の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項 (c) (1) (ii) に規定した限定内容に従うものとします。

民間機関の場合：限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項 (a) から (d) に規定した限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics For Imaging, Inc. の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されていない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

アメリカ合衆国印刷  
再生紙印刷

Part Number : 45026243

## ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下の使用許諾契約をお読みください。本ソフトウェアをご使用になった場合は、本使用許諾のすべての条項に従うべき義務を負うことになります。これらの条項の受諾あるいは同意ができない場合は、10日以内にお買上げ販売店に本製品とその全同梱物を返却して全額払戻しを受けることができます。

EFIは、お買上げいただいた Fiery Spark Professional PS ソフトリッパ PRO（以下 Fiery Spark Pro）に同梱されている Adobe Systems Incorporated の PostScript<sup>®</sup> ソフトウェアなどのソフトウェアおよび付属の文書（以上まとめて「ソフトウェア」という）について、以下の条項に基づいて非独占的、譲渡不可の使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

- a. 本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに Fiery Spark Pro においてのみ使用できます。
- b. お客様自身の日常業務においてのみ、EFI Fiery (R) に同梱の特別なコードフォーマット（以下「コード化フォントプログラム」という）によりデジタルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム（以下「フォントプログラム」という）を使用して、文字、数字、記号（以下「書体」という）の設計、書体、ウェイト、バージョンを再生表示できます。
- c. ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、EFI の商標（以下「商標」という）を使用できます。
- d. 承継人が本使用許諾の全ての条項に従うことに合意するかぎり、本使用許諾に基づくお客様の Fiery Spark Pro に関する全権利を承継人に譲渡することができます。

以下の内容はお客様には認められていません。

- a. プリント解像度 600 dpi 以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは Fiery Spark Pro 以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。
- b. お買上げいただいた Fiery Spark Pro ユニットの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書、あるいはそれらの一部の直接または間接的なあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、Fiery Spark Pro のハードディスクドライブに組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、直接または間接的なあらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。その文書のコピーを作成することも認められません。
- c. ソフトウェア、コード化フォントプログラム、あるいは付属の文書を変更、逆アセンブル、解読、あるいはリバースエンジニアリングすること。
- d. ソフトウェアをレンタル、あるいはリースすること。

## 所有権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書については、EFI とその供給元が持つものとし権利やその他の知的所有権は EFI とその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本使用許諾ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書に関する特許権、著作権、営業秘密、（登録、未登録を問わず）商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。EFI、あるいはその供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいは EFI やその供給元の商標権を損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。EFI から妥当と考えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとなります。

## 守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本使用許諾で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

## 救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、EFI に対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

## 限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから 90 日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作することを EFI は保証します。この保証の下で EFI の責任およびお客様に対する救済を行使するため（お客様が Fiery Spark Pro を EFI または EFI の正規の代理店に返却することを前提として）EFI の選択により、異常を回復または正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフトウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許諾を中止させます。米国の州によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的限定保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をも EFI は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規のサービス店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本使用許諾によって定められたいかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をも EFI は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。EFI はソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しないこと、あるいはソフトウェアがおお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

## 限定責任

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書の使用によって引き起こされるデータ損失、利益損失、回復費用、その他特別な、付随的、結果的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、あるいはどのような事由に基づいていようと EFI またはその供給元は責任を負いません。この限定条項は EFI やすべての正規販売店が、そのような損害の可能性を知らされていた場合にも適用されます。Fiery Spark Pro の価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。但し、米国の州や司法管轄区域によっては結果的、あるいは付随的責任の適用除外や限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されないことがあります。

## 輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに同意するものとします。本条項に従わない場合は、本使用許諾の実質的な違反となります。

## 政府による使用

アメリカ合衆国政府による使用、複製、開示は DFARS 252.227.7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software（技術データとコンピュータソフトウェアにおける権利）」条項の補助条項 (c)(1)(ii)、あるいは CFR 52.227-19 の「Commercial Computer Software--Restricted Right（商業用コンピュータソフトウェア 限定権利）」条項の補助条項 (c)(1) と (2) に規定した限定内容が適用できる場合、それらに従うものとします。

## 第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated（以下 Adobe 社）（住所：345 Park Avenue, San Jose, California 94110-2704）は、本使用許諾によって使用許諾が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本使用許諾に規定される条項の範囲で、本使用許諾における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項は Adobe 社の利益のために明示的に設定されたものであり、EFI に加え Adobe 社がこれを行行使うことができます。

## 一般条項

本使用許諾はカリフォルニア州法に準拠します。

本使用許諾はお客様と EFI との全面的合意を表したものであり、本ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書に関するその他の通知や広告に代わるものとします。

本使用許諾の一部の条項が無効になった場合でも、本使用許諾のそれ以外の部分は効力を有します。

お問い合わせの場合は、下記の住所まで書面にてご連絡ください。

Electronics For Imaging  
303 Velocity Way  
Foster City, CA 94404



# 目次

## はじめに

本書について	xii
用語	xii
取扱説明書について	xiii
Fiery Spark Pro の動作原理	xiv
PostScript プリンタドライバとプリンタ記述 ( PPD ) ファイル	xiv
本書で使用する約束事について	xvi

## 第 1 章 : Windows 対応コンピュータからの印刷

アプリケーションからの印刷	1-1
Windows 95/98/Me でのプリントオプションの設定および印刷	1-2
Windows 95/98/Me でのカスタム用紙サイズの設定方法	1-13
Windows 95/98/Me でのプリントオプションのデフォルト設定方法	1-14
Windows NT 4.0 でのプリントオプションの設定および印刷	1-15
Windows NT でのカスタム用紙サイズの設定方法	1-20
Windows NT でのプリントオプションのデフォルト設定方法	1-22
Windows 2000 でのプリントオプションの設定および印刷	1-22
Windows 2000 でのカスタム用紙サイズの設定方法	1-25
Windows 2000 でのプリントオプションのデフォルト設定方法	1-27
外部で印刷する時のファイルの保存	1-27
Drop Folders を使用しての印刷	1-27

## 第 2 章 : Mac OS 対応コンピュータからの印刷

アプリケーションからの印刷	2-1
「セレクト」での Fiery Spark Pro の選択	2-1
Mac OS 対応コンピュータでの印刷設定および印刷	2-4
Drop Folders を使用しての印刷	2-9

<b>第 3 章 : UNIX ワークステーションからの印刷</b>	
Fiery Spark Pro への印刷	3-1
<b>第 4 章 : ファイルとフォントのダウンロード</b>	
Fiery Downloader	4-1
Fiery Downloader を使った印刷	4-4
欧文プリンタフォントのダウンロードと管理	4-8
<b>第 5 章 : 印刷ジョブの管理</b>	
Fiery WebTools	5-1
「状況」WebTool での Fiery Spark Pro の状況のチェック	5-3
「WebLink」WebTool での情報アクセス	5-4
「プリンタモニタ」WebTool でのトナー状況確認	5-4
<b>付録 A : プリントオプションの設定</b>	
プリントオプションの設定場所	A-1
プリントオプション書き換えの優先順位	A-2
プリントオプションの詳細	A-3
プリントオプション補足情報	A-14
<b>付録 B : Fiery Spark Pro 提供フォント</b>	
和文フォント	B-1
欧文フォント	B-1



## 付録 C : トラブルシューティング

---

最適性能の維持	C-1
トラブルシューティング	C-2
印刷上の一般的な問題	C-2
印刷結果の質の問題	C-4
Fiery Downloader の問題	C-6
Fiery WebTools 一般の問題	C-8

## 索引



## はじめに

Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO は、カラープリンタをネットワーク上でプリンタとして機能できるようにします。最終書類の印刷やオフセット印刷前の校正時の印刷に Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を利用できます。通常のプリンタによる印刷同様、Windows の「プリンタ」ダイアログボックスまたは Mac OS の「セレクト」から Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を選択し、どのアプリケーション内からでも Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO で印刷することが可能です。

注意：以後、Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を「Fiery Spark Pro」と表記します。また、Fiery Spark Pro がインストールされている Windows 2000 対応コンピュータを「Fiery Spark Pro サーバ」と表記します。Fiery Spark Pro は LP-8800C プリンタをサポートします。本書では LP-8800C プリンタを「プリンタ」と表記します。

Command WorkStation を使用すると、Fiery Spark Pro に送信されるすべてのジョブをオペレータが管理できます。Command WorkStation 機能のいくつかは、Fiery WebSpooler/Fiery Spooler でも利用可能です。Fiery Spark Pro の取扱説明書は、リモートワークステーションから送信されるジョブを管理するオペレータが存在するものと想定して書かれています。Command WorkStation および Fiery WebSpooler/Fiery Spooler についての詳細は、『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

## 本書について

本書はリモートユーザがネットワークを介してジョブを送信するために必要な情報を記載しており、次の章 / 付録から構成されています。

第 1 章：Windows 対応コンピュータからの印刷

第 2 章：Mac OS 対応コンピュータからの印刷

第 3 章：UNIX ワークステーションからの印刷

第 4 章：ファイルとフォントのダウンロード

第 5 章：印刷ジョブの管理

付録：プリントオプションの設定 / Fiery Spark Pro 提供フォント / トラブルシューティング

## 用語

特殊用語はそのつど説明しますが、Fiery Spark Pro システムで一般的に使用される用語をここで説明します。

- PostScript (PS) - ページ記述言語として設計されたコンピュータ言語です。Fiery Spark Pro はこの言語を使用してページの画像を作成したり、アプリケーションやプリントエンジンと通信します。
- ジョブ - PostScript 言語で記述されているファイルです。書類上のグラフィックやテキスト、およびトレイ、用紙の種類などの印刷時に使用されるプリントオプション情報がコマンドやコメントとして記述されています。
- スプール - ディスクに書き出すことです。Fiery Spark Pro システムでは、処理 / 印刷前に Fiery Spark Pro サーバハードディスクに PostScript 印刷ジョブを保存するときにこの用語を使用します。
- RIP - ラスターイメージ処理 (Raster Image Processing) の頭字語です。ラスタ処理によりテキストやグラフィック用コマンドがページ上のイメージに変換されます。RIP はラスターイメージプロセッサ (Raster Image Processor) の略語でもあります。この場合は、ラスタ処理を施すコンピュータプロセッサを意味します。

- 印刷 / プリント - プリンタでページを描画する過程を意味します。Fiery Spark Pro とプリンタは合体して、強力なプリントシステムとして作動します。Fiery Spark Pro の PostScript RIP 処理により PostScript 内のテキストやグラフィックコマンドがトナーの各ドットの指定値に変換され、そのトナーがプリンタによりページ上に定着します。

## 取扱説明書について

本書は Fiery Spark Pro 取扱説明書の一部です。取扱説明書にはユーザおよびシステム管理者のための以下の説明書が含まれています。

- 『設定管理ガイド』 Fiery Spark Pro の基礎的な設定方法と管理方法を Fiery Spark Pro がサポートするプラットフォームやネットワーク環境ごとに説明します。また、クライアントやネットワーク上の他のワークステーションに PostScript 印刷サービスを提供するように UNIX、Windows NT、Novell サーバを設定する方法についても言及します。
- 『使用開始ガイド』 ユーザが Fiery Spark Pro に印刷できるように、ユーザソフトウェア CD で提供されているユーザソフトウェアのインストール(特に PostScript プリンタドライバおよびプリンタ記述ファイルのインストール方法)および印刷設定方法について説明します。また、各ユーザをネットワークに接続する方法についても説明します。
- 『印刷ガイド』 Fiery Spark Pro のプリントオプションや印刷機能、および Windows / Mac OS / UNIX ワークステーションからの印刷方法について説明します。
- 『カラーガイド』 Fiery Spark Pro のカラー出力を管理する方法、および出力に関する基礎知識と注意点を説明します。また、本書ではプリンタのキャリブレーション方法、ColorWise カラー管理システム、ColorWise Pro Tools の機能、および Windows / Mac OS でよく使用されるアプリケーションから Fiery Spark Pro へ印刷する方法についても言及します。
- 『ジョブ管理ガイド』 Command WorkStation と Fiery ユーティリティの機能およびこれらを使用してジョブ管理を行う方法を説明します。本書は特にジョブフローの監視と管理、トラブルシューティングを行うシステム管理者、オペレータおよび同レベルのアクセス権を持つユーザ用に書かれています。
- 『使用上の注意』 システムやユーザソフトウェアの最新の情報や制約が記載されています。

## Fiery Spark Pro の動作原理

Fiery Spark Pro はネットワーク接続されたコンピュータからファイルを受信し、そのファイルを RIP 処理した後、プリンタのプリントエンジンに処理済みデータを送信して印刷します。

アプリケーションからの印刷時には、Windows 対応コンピュータや Mac OS 対応コンピュータは、PostScript プリンタドライバとプリンタ記述 (PPD) ファイルによって Fiery Spark Pro と通信します。プリンタドライバにより、「プリント (印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro の特殊機能を使用することができます。

### PostScript プリンタドライバとプリンタ記述 (PPD) ファイル

PostScript プリンタドライバはアプリケーションとプリンタ間の印刷通信を管理するソフトウェアです。アプリケーションによって生成されたコマンドを解析し、プリンタ固有の PPD オプション情報を加えて、すべての情報をプリンタが解析可能な PostScript 言語に書き換えます。つまり、PostScript プリンタドライバは、オリジナルファイルと「プリント (印刷)」ダイアログボックスで指定されたオプションにもとづいて PostScript ファイルを作成します。

PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルにはプリンタ固有の機能およびサポートされている用紙のサイズや種類などの情報が含まれています。PostScript プリンタドライバは PPD ファイルの情報を読み取り、「プリント (印刷)」ダイアログボックスで選択可能なオプションとして表示します。Fiery Spark Pro 用 PPD には Fiery Spark Pro およびプリンタ固有の機能情報が含まれています。

PPD オプションについての詳細は「付録 A : プリントオプションの設定」を参照してください。

## Fiery Spark Pro 使用前に

Fiery Spark Pro を使用する前に以下の項目を確認してください。

1. システム管理者が『設定管理ガイド』通りに Fiery Spark Pro 「設定」を完了していること
2. Fiery Spark Pro 「設定」で指定したプリンタのデフォルト値  
デフォルト値は印刷ジョブの出力結果に影響します。これらのデフォルト設定についてはシステム管理者に確認してください。
3. 『使用開始ガイド』に従ってリモートワークステーションにユーザソフトウェアが正しくインストールされていること
4. ネットワーク上で印刷するためのコンピュータの構成

オペレータがすべての印刷ジョブを管理する場合、待機キューのみがユーザから使用可能となっていることがあります。この場合、すべての印刷ジョブは Fiery Spark Pro サーバにスプールされ、オペレータが次の行き先を決めるまで Fiery Spark Pro サーバにホールドされます。

印刷キューが使用可能な場合、印刷キューへジョブを送ると、ジョブは Fiery Spark Pro サーバにスプールされた後（オペレータなどの介入がないかぎり）ジョブ設定に基づいて RIP 処理され印刷されます。

直接接続が使用可能な場合、Fiery Spark Pro に送られた印刷ジョブはスプールされずにすぐに RIP 処理と印刷が行われます。

5. Fiery Spark Pro が Fiery WebTools 用に設定されていること、また Fiery WebTools へのユーザのアクセスレベル

管理者がインターネットまたはイントラネットでの Fiery WebTools へのアクセスを許可していない場合があります。アクセスできる場合でも、Fiery WebSpooler でジョブ管理を行うのにパスワードが必要なことがあります。

注意：カラー出力に影響するプリントオプションおよび機能についての詳細は『カラーガイド』を参照してください。

## 本書で使用する約束事について

- Fiery Spark Pro の取扱説明書名は『』内に表示されます。
- Fiery Spark Pro「設定」とは Fiery Spark Pro Fiery バーの「Fiery 設定」での設定を意味します（『設定管理ガイド』参照）。
- サブフォルダの表記方法

### Windows

たとえば「Folder1」フォルダ内の「Folder2」フォルダ内の「Application」フォルダ内にある「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする場合、

「¥Folder1¥Folder2¥Application」フォルダ内の「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。

と表記します。

### Mac OS

たとえば「フォルダ 1」フォルダ内の「フォルダ 2」フォルダ内の「フォルダ 3」フォルダを開く場合、

「フォルダ 1: フォルダ 2: フォルダ 3」フォルダを開きます。

と表記します。

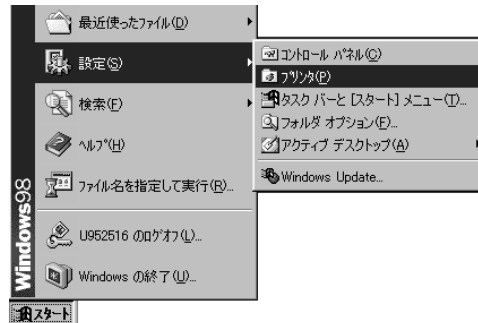


- サブ画面の表記方法

たとえば Windows 95/98/Me の「スタート」ボタンをクリックして「設定」の「プリンタ」を選ぶ場合、

Windows 95/98/Me の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。

と表記します。



- タブ画面の表記方法

たとえば、次の画面で、「メニュー 1」を選んで、「タブ 3」のタブを選ぶ場合、「メニュー 1：タブ 3」を選びます。

と表記します。





## 第 1 章： Windows 対応コンピュータからの印刷

本章では Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、および Windows 2000 対応コンピュータから Fiery Spark Pro を使って印刷する方法を説明します。Fiery Spark Pro にネットワーク接続されている Windows 対応コンピュータから Fiery Spark Pro に印刷することができます。外部で印刷する場合は 1-27 頁の「外部で印刷する時のファイルの保存」を参照してください。

Windows 対応コンピュータから印刷する別の方法として、PDF、EPS、TIFF、または PostScript ファイルを作成後 Fiery Downloader / Drop Folders を使ってダウンロード印刷する方法があります。Fiery Downloader の使用方法については第 4 章を、Drop Folders については 1-27 頁を参照してください。

備考：Fiery Spark Pro サーバに接続の Windows サーバを使用して印刷するための、Windows 環境設定に関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。ネットワークへの Fiery Spark Pro の接続や、プリンタドライバおよび Fiery ユーティリティのインストール方法については、『使用開始ガイド』を参照してください。

## アプリケーションからの印刷

『使用開始ガイド』で記述の手順で Fiery Spark Pro の PostScript プリンタドライバをインストールし、適切なポートを設定すると、ほとんどの Windows アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択するだけで、Fiery Spark Pro に印刷できます。

各アプリケーションから最良のカラー印刷結果を得る方法に関しては、『カラーガイド』を参照してください。

## Windows 95/98/Me でのプリントオプションの設定および印刷

Windows 95/98/Me から印刷するには、Windows 95/98/Me 用 Adobe PostScript プリントドライバを使用します。Adobe PostScript プリントドライバはユーザソフトウェア CD からインストール、または(システム管理者が Fiery Spark Pro へのインターネット接続を使用可能に設定した場合)「インストーラ」WebTool からダウンロードします。詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

Adobe PostScript プリントドライバおよび Fiery Spark Pro プリント記述 (PPD) ファイルをインストールすると、プリントオプションの設定を変更できます。Fiery Spark Pro への印刷時に、アプリケーション内で特定ジョブ用にいくつかのプリントオプションを変更することもできます。

ネットワークを介して PC をプリントサーバに接続し Windows 95/98/Me アプリケーションから印刷する場合、プリントサーバとしては、NT サーバまたは UNIX サーバが必要です。サーバを Fiery Spark Pro に接続する方法に関しては『設定管理ガイド』を参照してください。

プリントサーバに接続しないで Windows 95/98/Me から印刷する方法として SMB 印刷があります。SMB 印刷についての詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

アプリケーションからプリントオプションを設定するには、次の手順に従ってください。すべての印刷ジョブに適用するデフォルト値を設定する手順は、1-12 頁に記載します。

注意：アプリケーションからの設定は、アプリケーションを終了するまで適用されます。

# 1

## 1-3 アプリケーションからの印刷

Windows 95/98/Me 用 Adobe PostScript プリンタドライバでプリントオプションを設定 / 変更し、印刷するには：

1. Windows 95/98/Me アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. 「プリント（印刷）」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro が選択されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。

注意：「プリント（印刷）」ダイアログボックスは、アプリケーションにより異なります。ダイアログボックスに関する詳細は、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。



ここで、通常使用する印刷機能をコントロールできます。

# 1

## 1-4 Windows 対応コンピュータからの印刷

4. 「ジョブ」プリントオプションバーをクリックします。



「用紙サイズ」欄で、印刷ジョブの用紙サイズを指定します。

「給紙トレイ」欄で、印刷ジョブに使用するトレイを適宜指定します。

「用紙の種類」欄で、印刷ジョブの用紙の種類を指定します。

注意：指定トレイ内の用紙のサイズ、用紙の種類、および出力方向が印刷ジョブで指定の値と異なる場合、Fiery Spark Pro はエラーメッセージを表示し、ジョブは印刷されません。その場合正しい用紙をトレイにセットするか、ジョブをキャンセルしてください。

# 1

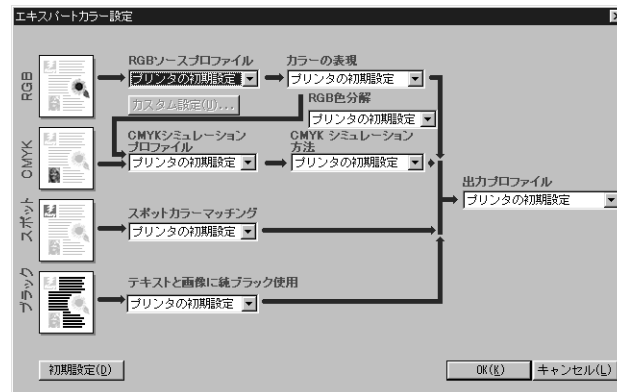
## 1-5 アプリケーションからの印刷

5. 「ColorWise」プリントオプションバーをクリックします。



「印刷モード」欄で、印刷ジョブに適用する印刷モードを選択します。「カラーの表現」など、詳細なカラーの設定を行う場合は、「エキスパート設定」ボタンをクリックし、手順6へ進んでください。「標準カラー」または「グレースケール」を選択する場合は、手順7へ進んでください。

6. カラーの各項目を設定したら、「OK」をクリックします。



7. 「ジョブ注釈メモ」プリントオプションバーをクリックします。



8. 「ジョブ注釈メモ 1」、「ジョブ注釈メモ 2」欄に適宜テキストメッセージを入力します。

課金情報のためにユーザやジョブに関する情報を入力することができます。これらのメモは Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler およびジョブログに表示されます。この情報はオペレータによって編集または削除されません。

9. ジョブについてのオペレータへの指示を「指示」欄に適宜入力します。  
この指示は Command WorkStation および Fiery WebSpooler / Fiery Spooler に表示されます。ジョブログには表示されません。オペレータはこの指示の編集ができます。
10. 他のプリントオプションバーをクリックし、適宜印刷ジョブ用に必要な設定を行います。

これらのプリントオプションは Fiery Spark Pro およびプリンタに固有のもので、ここでの設定は Fiery Spark Pro 「設定」での値を書き換えます。これらの設定は Command WorkStation の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更可能です。書き換えについての詳細は「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

オプションの項目で「プリンタの初期設定」を選ぶと、印刷ジョブは Fiery Spark Pro 「設定」での値または工場出荷値に基づいて印刷されます。

設定値を工場出荷時のデフォルト値にもどす場合は、「初期設定」をクリックします。



注意：プリントオプションによってはアプリケーションでも指定可能なものがありますが、アプリケーションではなくここで指定してください。アプリケーションで指定すると適切に印刷できなったり、処理に時間がかかることがあります。

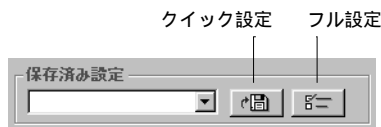
注意：競合するオプションを選択した場合は、警告ダイアログボックスが表示されることがあります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

11. 「OK」をクリックし、「プロパティ」ダイアログボックスを閉じます。
12. 「プリント（印刷）」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

### 保存済み設定

プリントオプション設定をファイルにしてハードディスクに保存しておくことができます。この機能により、特定ジョブ用に設定値を保存しておいて、必要なときにロードできます。

設定保存用にクイック設定用アイコンボタンとフル設定用アイコンボタンが用意されています。クイック設定用アイコンボタンでは設定の保存のみが可能です。フル設定用アイコンボタンでは設定の保存および削除ができます。

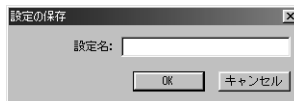


設定を保存するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、各プリントバーでプリントオプションを設定後、フル設定用またはクイック設定用アイコンボタンをクリックします。



フル設定の場合



クイック設定の場合

# 1

- フル設定の場合は、「作成」をクリックし、設定名を入力し、「OK」をクリックします。クイック設定の場合は、設定名を入力します。

設定名は半角で 32 文字まで入力できます。



フル設定の場合

- 「OK」をクリックします。  
設定名が「保存済み設定」欄に表示されます。

---

保存済み設定をロードするには：

- 「Fiery 印刷」タブで、「保存済み設定」ポップアップメニューから、ロード対象の設定名を選択します。  
選択された保存済み設定に基づいて、各プリントオプションが自動的に選択されます。

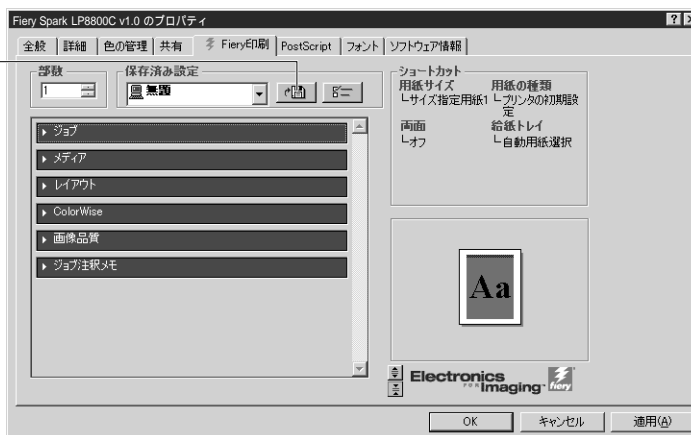
# 1

## 1-9 アプリケーションからの印刷

保存済み設定を変更するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、「保存済み設定」ポップアップメニューから、変更対象の設定名を選択します。  
選択された保存済み設定に基づいて、各プリントオプションが自動的に選択されます。
2. 各プリントオプションを再設定し、クイック設定用アイコンをクリックします。

クイック設定用アイコンをクリック



3. 「OK」をクリックして、設定の変更を保存します。

保存済み設定をエクスポートするには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、フル設定用アイコンをクリックします。
2. エクスポート対象の設定名を選択します。



3. 「エクスポート」をクリックします。

# 1

4. ファイルの保存場所を選択し、ファイル名を入力して「OK」をクリックします。



5. 「設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

保存済み設定をインポートするには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、フル設定用アイコンをクリックします。
2. 「インポート」をクリックします。
3. インポートするファイルの保存場所を参照し、ファイル名を選択して「OK」をクリックします。



4. 「設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。



保存済み設定を削除するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、フル設定用アイコンボタンをクリックします。
2. 削除対象の保存済み設定名を選択し、「削除」をクリックします。
3. 削除確認のため「はい」をクリックし、「OK」をクリックします。

注意：「初期設定」は削除できません。

### ショートカット

「ショートカット」欄には、最も頻繁に使用するプリントオプションの現在の設定値が表示されます。「ショートカット」欄を使用すると、迅速かつ容易にこれらの設定を変更できます。

ショートカットを使用してプリントオプションを設定するには：

1. 「Fiery 印刷」タブの「ショートカット」欄で、設定対象のプリントオプションを選択します。

プリントオプション名の真上にカーソルを置くと、カーソルが手の形状になり、プリントオプション名に下線が引かれます（例：次図参照）。



# 1

2. 選択されたプリントオプションをクリックし、設定します。  
プリントオプションを右クリックして、表示されるポップアップメニューで設定することもできます。
3. 「OK」をクリックします。

用紙イメージ表示アイコンを使用してプリントオプションを設定するには：

1. 「Fiery 印刷」タブで、用紙イメージアイコン上にカーソルを移動し、右クリックします。



アイコンを  
右クリック

2. 適宜プリントオプション項目を指定します。
3. 「OK」をクリックします。

## Windows 95/98/Me でのカスタム用紙サイズの設定方法

Windows 95/98/Me では、カスタム用紙サイズ設定用ダイアログボックスでカスタムサイズを定義できます。

カスタム用紙サイズを定義するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」を選択します。
2. プリンタアイコンを右クリックし「プロパティ」を選択します。
3. 「Fiery 印刷」タブの「ジョブ」オプションバーをクリックします。



4. 「カスタム」ボタンをクリックします。



5. 「カスタム用紙サイズの設定」ダイアログボックスで用紙名と幅 / 高さを指定し、「OK」をクリックします。

6. 「適用」をクリックし「OK」をクリックします。

指定したカスタム用紙は、印刷時にアプリケーションから容易に選択でき、印刷のたびに定義する必要はありません。

---

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. プリンタを選択し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「Fiery 印刷」タブの「ジョブ」プリントオプションバーをクリックします。
4. 「用紙サイズ」で「カスタム用紙サイズの設定」ダイアログボックスで入力した用紙名、「給紙トレイ」で「用紙トレイ」を選択します。
5. 適宜、印刷ジョブ用のプリントオプションを設定します。
6. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックし、印刷を開始します。

### Windows 95/98/Me でのプリントオプションのデフォルト設定方法

Fiery Spark Pro では、頻繁に使用するプリントオプション項目をデフォルト値に設定できます。

---

プリントオプションをコンピュータのデフォルトに設定するには：

1. Windows 95/98/Me の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。
2. Fiery Spark Pro 用アイコンを選んで右クリックし、「プロパティ」を選びます。
3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。
4. 1-3 頁の手順 3 以降を参照してプリントオプションを設定します。
5. 「適用」または「更新」をクリックし、「OK」をクリックします。



## Windows NT 4.0 でのプリントオプションの設定および印刷

Windows NT 4.0 から印刷するには、Windows NT 4.0 用 Adobe PostScript プリントドライバを使用します。Adobe PostScript プリントドライバはユーザソフトウェア CD からインストール、または（システム管理者が Fiery Spark Pro へのインターネット接続を使用可能に設定した場合）「インストーラ」WebTool からダウンロードします。詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

Adobe PostScript プリントドライバおよび Fiery Spark Pro プリント記述（PPD）ファイルをインストールすると、プリントオプションの設定を変更できます。Fiery Spark Pro への印刷時に、アプリケーション内で特定ジョブ用にいくつかのプリントオプションを変更することもできます。

プリントサーバに接続しないで Windows NT から印刷する方法として SMB 印刷があります。SMB 印刷についての詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

アプリケーションからプリントオプションを設定するには、次の手順に従ってください。すべての印刷ジョブに適用するデフォルト値を設定する手順は、1-22 頁に記載します。

注意：アプリケーションからの設定は、アプリケーションを終了するまで適用されません。

Windows NT 4.0 用 Adobe PostScript プリンタドライバでプリントオプションを設定 / 変更し、印刷するには：

1. Windows NT 4.0 アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. 「プリント（印刷）」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro が選択されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。

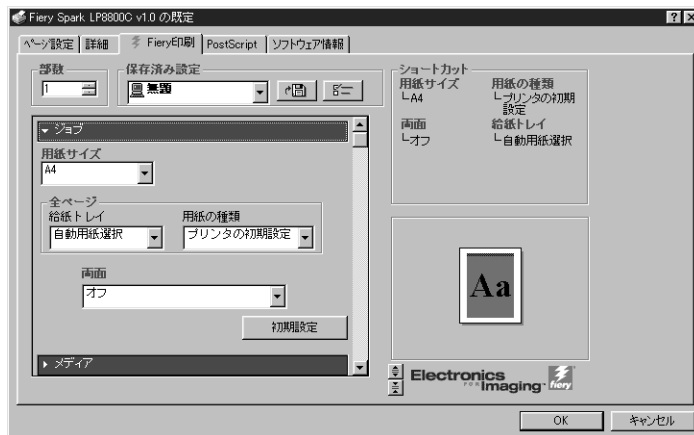
注意：「プリント（印刷）」ダイアログボックスは、アプリケーションにより異なります。ダイアログボックスに関する詳細は、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。



ここで、通常使用する印刷機能をコントロールできます。

4. 「ジョブ」プリントオプションバーをクリックします。



「用紙サイズ」欄で、印刷ジョブの用紙サイズを指定します。

「給紙トレイ」欄で、印刷ジョブに使用するトレイを適宜指定します。

「用紙の種類」欄で、印刷ジョブの用紙の種類を指定します。

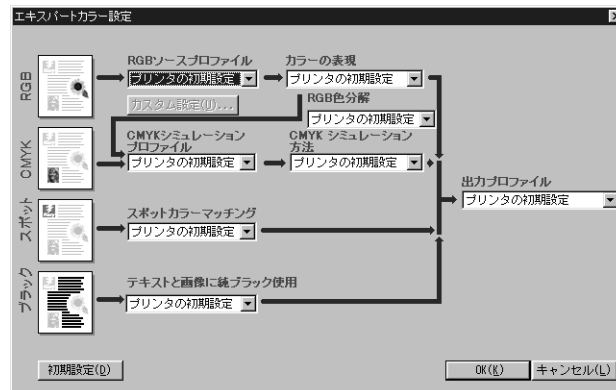
注意：指定トレイ内の用紙のサイズ、用紙の種類、および出力方向が、印刷ジョブで指定の値と異なる場合、Fiery Spark Pro はエラーメッセージを表示し、ジョブは印刷されません。その場合正しい用紙をトレイにセットするか、ジョブをキャンセルしてください。

5. 「ColorWise」プリントオプションバーをクリックします。

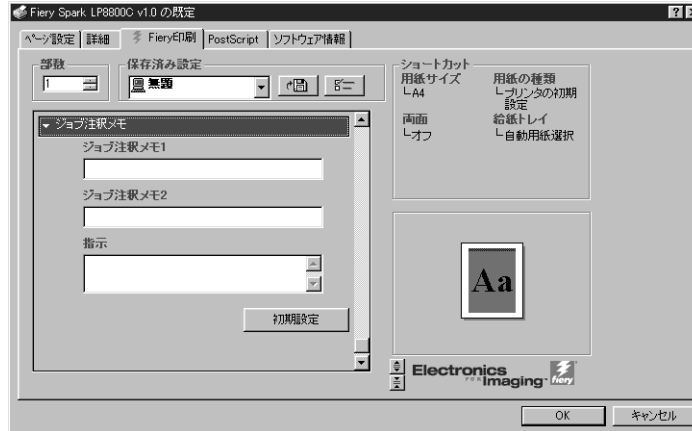


「印刷モード」欄で、印刷ジョブに適用する印刷モードを選択します。「カラーの表現」など、詳細なカラーの設定を行う場合は、「エキスパート設定」ボタンをクリックし手順 6 へ、「標準カラー」または「グレースケール」を選択する場合は、いずれかのボタンをクリックし手順 7 へ進んでください。

6. カラーの各項目を設定したら、「OK」をクリックします。



7. 「ジョブ注釈メモ」プリントオプションバーをクリックします。



8. 「ジョブ注釈メモ 1」、「ジョブ注釈メモ 2」欄に適宜テキストメッセージを入力します。

課金情報のためにユーザやジョブに関する情報を入力することができます。これらのメモは Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler およびジョブログに表示されます。この情報はオペレータによって編集または削除されません。
9. ジョブについてのオペレータへの指示を「指示」欄に適宜入力します。

この指示は Command WorkStation および Fiery WebSpooler / Fiery Spooler に表示されます。ジョブログには表示されません。オペレータはこの指示の編集ができます。
10. 他のプリントオプションバーをクリックし、適宜印刷ジョブ用に必要な設定を行います。

これらのプリントオプションは Fiery Spark Pro およびプリンタに固有のもので、ここでの設定は Fiery Spark Pro 「設定」での値を書き換えます。これらの設定は Command WorkStation の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更可能です。書き換えについての詳細は「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

オプションの項目で「プリンタの初期設定」を選ぶと、印刷ジョブは Fiery Spark Pro 「設定」での値または工場出荷値に基づいて印刷されます。

設定値を工場出荷時のデフォルト値にもどす場合は、「初期設定」をクリックします。

注意：プリントオプションによってはアプリケーションでも指定可能なものがありますが、アプリケーションではなくここで指定してください。アプリケーションで指定すると適切に印刷できなかったり、処理に時間がかかることがあります。

注意：競合するオプションを選択した場合は、警告ダイアログボックスが表示されることがあります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

11. 「OK」をクリックし、「プロパティ」ダイアログボックスを閉じます。
12. 「プリント（印刷）」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

### 保存済み設定

プリントオプション設定をファイルにしてハードディスクに保存しておくことができます。この機能により、特定ジョブ用に設定値を保存しておいて、必要なときにロードできます。詳細は、1-7 頁を参照してください。

## Windows NT でのカスタム用紙サイズの設定方法

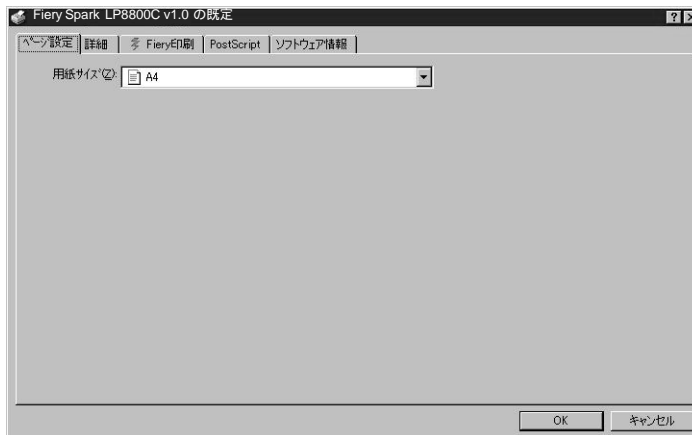
Windows NT では、カスタム用紙サイズ設定用ダイアログボックスでカスタムサイズを定義できます。

---

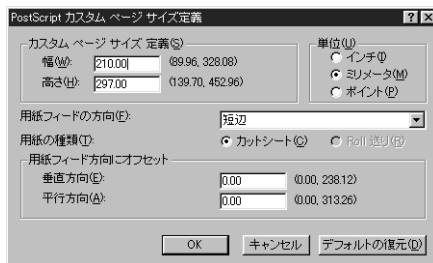
カスタム用紙サイズを定義するには：

1. Windows NT の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。
2. Fiery Spark Pro 用アイコンを選んで右クリックし、「ドキュメントの既定値」を選択します。
3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。
4. 「ジョブ」プリントオプションバーをクリックします。
5. 「給紙トレイ」で、「用紙トレイ」を選択します。

6. 「ページ設定」タブを選択します。



7. ポップアップメニューで「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。  
次の画面が表示されます。



8. 表示されたダイアログボックスで幅/高さを指定し、「OK」をクリックします。

指定したカスタム用紙は、印刷時にアプリケーションから容易に選択でき、印刷のたびに定義する必要がありません。

---

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. プリンタを選択し、「プロパティ」をクリックします。

3. 「詳細」タブの「用紙サイズ」で「PostScript カスタムページサイズ」、 「Fiery 印刷」タブの「ジョブ」プリントオプションの「給紙トレイ」で「用紙トレイ」を選択します。
4. 適宜、印刷ジョブ用のプリントオプションを設定します。
5. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックし、印刷を開始します。

## Windows NT でのプリントオプションのデフォルト設定方法

Fiery Spark Pro では、通常よく使用するプリントオプション項目をデフォルト値に設定できます。

---

プリントオプションをコンピュータのデフォルトに設定するには：

1. Windows NT の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。
2. Fiery Spark Pro 用アイコンを選んで右クリックし、「ドキュメントの既定値」を選びます。
3. 「Fiery 印刷」タブをクリックします。
4. 1-17 頁の手順 4 以降を参照してプリントオプションを設定します。
5. 「OK」をクリックします。

## Windows 2000 でのプリントオプションの設定および印刷

Windows 2000 から印刷するには、Windows 2000 用 Microsoft プリンタドライバを使用します。Windows 2000 用 Microsoft プリンタドライバは Microsoft Windows 2000 CD で提供されています。

Windows 2000 用の Fiery Spark Pro プリンタ記述（PPD）ファイルをインストールすると、プリントオプションの設定を変更できます。Fiery Spark Pro への印刷時に、アプリケーション内で特定ジョブ用にいくつかのプリントオプションを変更することもできます。Fiery Spark Pro PPD ファイルは、Fiery Spark Pro ユーザソフトウェア CD からまたは（システム管理者が Fiery Spark Pro へのインターネット接続を使用可能に設定した場合）「インストーラ」WebTool からダウンロードし、インストールします（『使用開始ガイド』参照）。

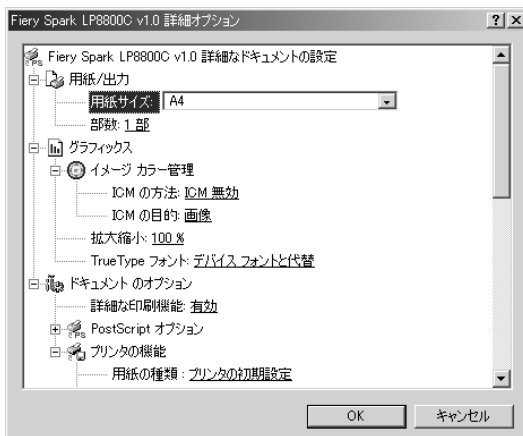


印刷前にプリントオプションが適切に設定されていることを確認する必要があります。アプリケーションからプリントオプションを設定するには、次の手順に従ってください。すべての印刷ジョブに適用するデフォルト値を設定する手順は、1-27 頁に記載します。

注意：アプリケーションからの設定は、アプリケーションを終了するまで適用されます。

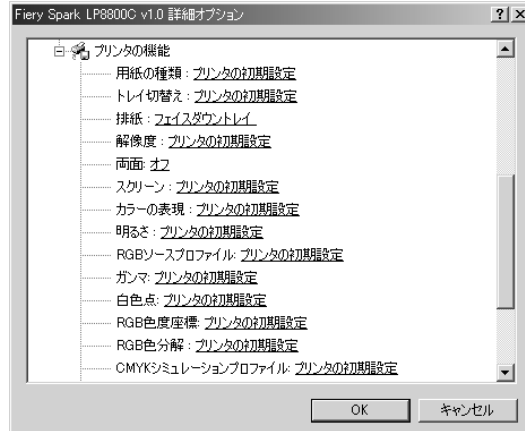
Windows 2000 用 Microsoft PostScript プリンタドライバでプリントオプションを設定 / 変更し、印刷するには：

1. Windows 2000 のアプリケーションで「プリント (印刷)」を選択します。
2. 「プリント (印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro が選択されていることを確認し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「レイアウト」タブをクリックし、「印刷の向き」メニューでジョブの印刷方向 (縦、横、横置きに回転) を指定します。
4. 「詳細設定」ボタンをクリックし、「用紙サイズ」メニューで印刷ジョブ用に用紙サイズを指定します。



注意：指定トレイ内の用紙のサイズ、用紙の種類、および出力方向が印刷ジョブで指定した値と異なる場合 Fiery Spark Pro はエラーメッセージを表示し、ジョブは印刷されません。その場合は、正しい用紙をトレイにセットするか、ジョブをキャンセルしてください。

5. 「プリンタの機能」までスクロールダウンし、印刷ジョブ用に適宜設定を変更します。



これらのプリントオプションは Fiery Spark Pro およびプリンタに固有のものです。ここでの設定は Fiery Spark Pro 「設定」での値を書き換えます。これらの設定は Command WorkStation の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更可能です。書き換えについての詳細は「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

「プリンタの機能」オプションで「プリンタの初期設定」を選ぶと、印刷ジョブは Fiery Spark Pro 「設定」での値または工場出荷値に基づいて印刷されます。

注意：プリントオプションによってはアプリケーションでも指定可能なものがありますが、アプリケーションではなくここで指定してください。アプリケーションで指定すると適切に印刷できなかったり、処理に時間がかかることがあります。

注意：競合するオプションを選択した場合は、警告ダイアログボックスが表示されることがあります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

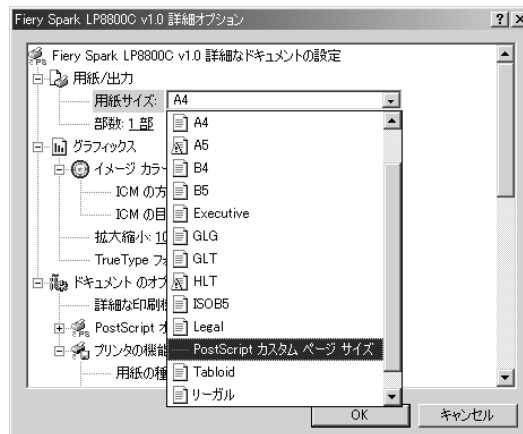
6. 「詳細オプション」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
7. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
8. 「印刷(プリント)」ダイアログボックスで「OK」をクリックし、印刷を開始します。

## Windows 2000 でのカスタム用紙サイズの設定方法

Windows 2000 では、カスタム用紙サイズ設定用ダイアログボックスでカスタムサイズを定義できます。

カスタム用紙サイズを定義するには：

1. 「スタート」ボタンから「設定：プリンタ」を選択します。
2. プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
3. 「詳細設定」をクリックします。
4. 「用紙サイズ」欄でポップアップメニューから、「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。



5. 「PostScript カスタムページサイズの定義」ダイアログボックスで、幅 / 高さ、その他適宜必要な項目を指定し、「OK」をクリックします。



6. 「詳細オプション」画面で「OK」をクリックします。
7. 印刷設定のウィンドウで「OK」をクリックします。

指定したカスタム用紙は、印刷時にアプリケーションから容易に選択でき、印刷のたびに定義する必要がありません。

---

カスタム用紙サイズで印刷するには：

1. アプリケーションから「プリント（印刷）」を選択します。
2. プリンタを選択し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「用紙 / 品質」タブの「給紙方法」欄で、「用紙トレイ」を選択します。
4. 「詳細設定」をクリックします。
5. 「用紙サイズ」欄で「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。
6. 適宜、印刷ジョブ用のプリントオプションを設定します。
7. 「OK」をクリックします。
8. 「プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックし、印刷を開始します。

## Windows 2000 でのプリントオプションのデフォルト設定方法

Fiery Spark Pro では、通常よく使用するプリントオプション項目をデフォルト値に設定できます。

---

プリントオプションをコンピュータのデフォルトに設定するには：

1. Windows 2000 の「スタート」ボタンをクリックし、「設定：プリンタ」を選びます。
2. Fiery Spark Pro 用アイコンを右クリックし、「印刷設定」を選びます。
3. 「詳細設定」ボタンをクリックします。
4. 1-23 頁の手順 4 以降を参照してプリントオプションを設定します。
5. 「詳細オプション」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。
6. 「印刷設定」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

## 外部で印刷する時のファイルの保存

印刷データ作成環境に Fiery Spark Pro が設置されておらず、印刷サービス店（サービスビューロ）か外部での印刷をするためにファイルを外に持ち出す必要がある場合は、最終ファイルを「FILE」ポートに印刷します。Fiery Downloader でダウンロードするファイルを作成する時もこの「FILE」ポートに印刷します。

## Drop Folders を使用しての印刷

プリントサーバへの Fiery Spark Pro サーバソフトウェアのインストール時に、「Spark Direct」、「Spark Print」、および「Spark Hold」と呼ばれる Drop Folders がプリントサーバデスクトップ上にインストールされます。ネットワーク上のリモートワークステーションデスクトップ上にこの Drop Folders のショートカットを作成すると、ショートカットにファイルを「ドロップ」するだけで、サーバに印刷できます。

Drop Folders を使用しての印刷は、PostScript、EPS、TIFF、および PDF ファイルに限られていますが、一度、上記のフォーマットでファイルを作成すると印刷するためだけにファイル作成に使用したアプリケーションを起動させる必要はありません。また、アプリケーションから印刷するよりも Drop Folders を使用する方が、早く印刷できます。

プリントサーバでの Drop Folders の作成および設定については『設定管理ガイド』を、リモートワークステーションでのショートカットの作成の方法については『使用開始ガイド』を参照してください。

## 第 2 章： Mac OS 対応コンピュータからの印刷

Mac OS アプリケーションから、LaserWriter や他の PostScript プリンタでの印刷と同様に、アップルメニューの「セレクト」で Fiery Spark Pro を選択し、簡単に Fiery Spark Pro にファイルを印刷できます。

Mac OS 対応コンピュータから印刷する別の方法として、PDF、EPS、TIFF、または PostScript ファイルを作成し Fiery Downloader / Drop Folders を使ってダウンロード印刷する方法があります。Fiery Downloader の使用方法については第 4 章を、Drop Folders については 2-9 頁を参照してください。

### アプリケーションからの印刷

アプリケーションから Fiery Spark Pro に印刷する際は、まず「セレクト」で Fiery Spark Pro を選びます。Fiery Spark Pro ユーザーソフトウェア提供の Adobe PostScript プリンタドライバと Fiery Spark Pro プリンタ記述 ( PPD ) ファイル を使用すると、「プリント (印刷)」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro の多くの印刷機能を設定変更できます。

各アプリケーションから最良のカラー印刷結果を得る方法に関しては、『カラーガイド』を参照してください。

### 「セレクト」での Fiery Spark Pro の選択

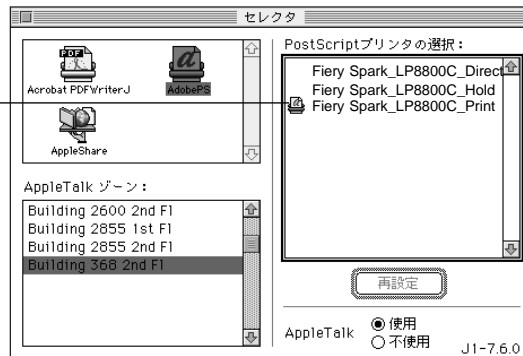
Fiery Spark Pro に印刷する前に、「セレクト」で Fiery Spark Pro が選択されていることを確認してください。

注意：「セレクトタ」で Fiery Spark Pro を設定する方法に関しては、『使用開始ガイド』を参照してください。

Fiery Spark Pro を通常使用するプリンタとして選択するには：

1. Fiery Spark Pro サーバがネットワークに接続され、電源が入って正常に起動していることを確認します。
2. アップルメニューの「セレクトタ」を選択します。
3. AppleTalk 欄で「使用」が選択されていることを確認します。
4. 「AdobePS」アイコンをクリックします。
5. ゾーンがある場合は、Fiery Spark Pro のある AppleTalk ゾーンを選択します。
6. 「PostScript プリンタの選択」一覧から Fiery Spark Pro を「サーバ名 \_ デバイス名 \_ プリント接続タイプ」によって選択します。

設定済みアイコン



ゾーン内でサポートされているすべてのプリンタ名が「PostScript プリンタの選択」一覧に表示されます。



システム管理者がすべてのプリント接続タイプを使用可能にしている場合は、直接接続（\_Direct）印刷キュー（\_Print）待機キュー（\_Hold）への印刷が可能です。

- 直接接続（\_Direct） - スプーラを迂回して Fiery Spark Pro に直接印刷ができ、他のジョブが処理中でない場合は優先して即座に処理されます。他のジョブが処理中の場合は、そのジョブの処理が済み次第、処理されます。また、機密性の高い書類の場合に直接接続を使うと、キューにデータが残らず、再印刷の恐れを防ぐことができます。
- 印刷キュー（\_Print） - ジョブは Fiery Spark Pro 印刷キューへスプールされ、送信後コンピュータはユーザに開放されます。このキュー内のジョブは順番に処理されます。
- 待機キュー（\_Hold） - ジョブは Fiery Spark Pro 待機キューへスプールされ、そこに留まります。後で印刷するときに Command WorkStation、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler で印刷キューへジョブを移して印刷することができます。

注意： システム管理者が Fiery Spark Pro の印刷キュー、待機キュー、または直接接続を無効にしていることがあります。その場合は、無効な接続の名前は一覧に表示されません。

#### 7. 「設定」をクリックします。

注意： 機能拡張の「デスクトップ・プリントモニタ」がオンになっている場合、このボタンは「作成」と表示されます。

Fiery Spark Pro の PPD ファイルがインストールされている場合は、Fiery Spark Pro 用の PPD ファイルが自動的に選択され、プリンタ名の左側に設定済みを表すアイコンが表示されます。

「セレクト」が Fiery Spark Pro の PPD ファイルを見つけられなかった場合は、PPD ファイルを選択するためのダイアログボックスが現れます。このダイアログボックスで Fiery Spark Pro の PPD ファイルを選択してください（『使用開始ガイド』参照）。

「セレクト」で別のプリンタを選択するまで Fiery Spark Pro が現在使用できるプリンタとして選択されている状態が続きます。アプリケーションによっては、「プリント（印刷）」ダイアログボックスからプリンタの変更が可能です。

Adobe PostScript プリンタドライバおよび PPD ファイルのインストールに関する詳細は、『使用開始ガイド』を参照してください。

## Mac OS 対応コンピュータでの印刷設定および印刷

ページ(用紙)設定用ダイアログボックスおよび印刷設定用ダイアログボックスで、Fiery Spark Pro のプリンタ設定項目のいくつかを書き換えることができます。詳細は「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

備考：いくつかのプリントオプションのデフォルト値は Fiery Spark Pro 「設定」でシステム管理者によって設定されます。現在のデフォルト値についてはシステム管理者に問い合わせてください。

Adobe PostScript プリンタドライバで印刷設定、印刷を行うには：

1. アプリケーションで印刷するファイルを開きます。
2. アプリケーションで「ファイル：ページ(用紙)設定」を選択します。
3. 用紙設定用ダイアログボックスで印刷ジョブ用に適宜必要な設定を行います。

「プリンタ」ポップアップメニューには Fiery Spark Pro 「サーバ名\_デバイス名\_プリント接続タイプ」(ここでは「Fiery Spark\_LP8800C\_Print」)が、その下のポップアップメニューには「ページ属性」が現れます。

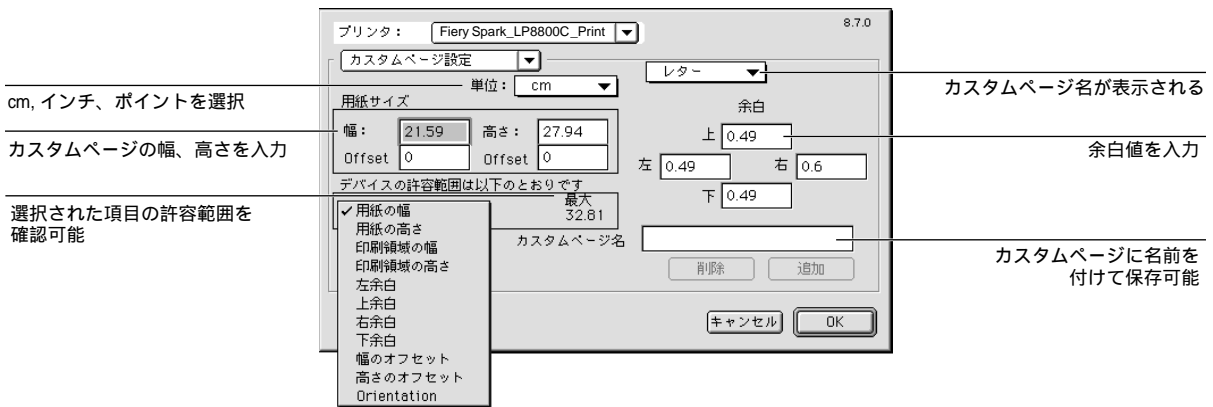


注意：アプリケーションによって、用紙設定用ダイアログボックスの表示内容が異なります。

4. 「用紙」ポップアップメニューで印刷ジョブ用に用紙を選択して、「OK」をクリックします。

アプリケーションによっては用紙設定可能なものがあります。その場合は、アプリケーションでも同じ設定をしてください。

5. 規定の用紙サイズを使用する場合はステップ 8 に進みます。「カスタム」を使用する場合は、「ページ属性」ポップアップメニューで「カスタムページ設定」を選択し、必要な設定値を入力してください。



6. 「用紙サイズ」欄でカスタムページのサイズを入力します。

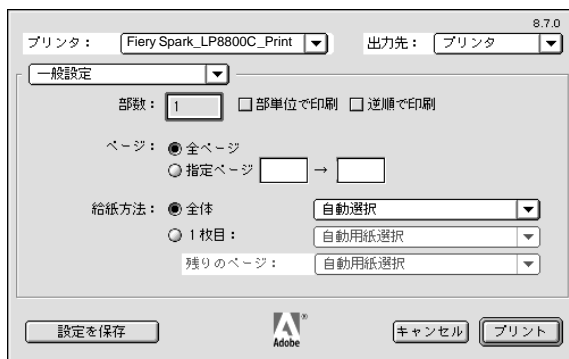
「デバイスの許容範囲」欄では各項目の最大、最小許容範囲が表示されます。ここで表示される許容範囲外の無効値を入力して「OK」をクリックすると、警告メッセージが表示されます。

7. すべての設定終了後、このカスタムページを保存する場合は「カスタムページ名」欄に名前を入力し、「追加」をクリックします。

保存されたカスタムページ名は用紙ポップアップメニューに現れます。既存のカスタムページサイズを用紙ポップアップメニューから削除する場合は、「削除」をクリックします。

8. 「OK」をクリックします。

9. アプリケーションで「ファイル：プリント（印刷）」を選択します。  
印刷設定用ダイアログボックスが現れます。



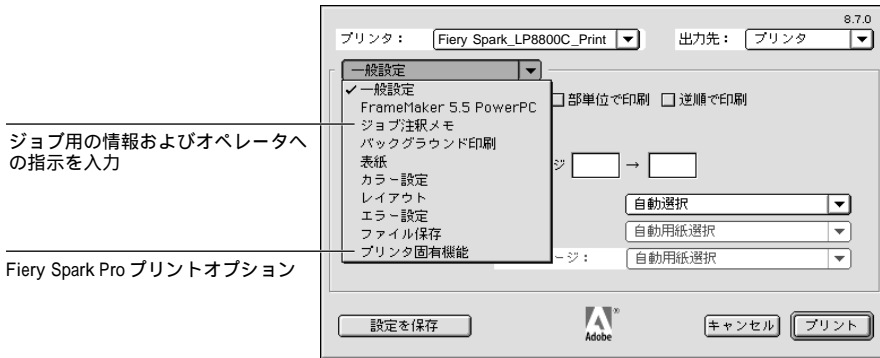
注意：アプリケーションによって、印刷設定用ダイアログボックスの表示内容が異なります。

左上の「プリンタ」ポップアップメニューには「Fiery Spark\_LP8800C...」が表示されます。「プリンタ」ポップアップメニューを押すと、「セレクト」で設定済みのプリンタがすべて表示され、選択可能です。「セレクト」でプリンタを再選択する必要はありません。

10. 「部数」欄で、印刷部数を指定します。
11. 「ページ」欄で、印刷ページを指定します。
12. 「給紙方法」ポップアップメニューで印刷ジョブに使用するトレイを指定します。

注意：指定トレイ内の用紙のサイズ、用紙の種類、および出力方向が印刷ジョブで指定した値と異なる場合 Fiery Spark Pro はエラーメッセージを表示し、ジョブは印刷されません。その場合は、正しい用紙をトレイにセットするか、ジョブをキャンセルしてください。

13. 「一般設定」ポップアップメニューを押すと、各オプション設定項目が現れます。各オプション設定項目で、適宜必要な項目を選択、または情報を入力してください。



#### • ジョブ注釈メモ



「ジョブ注釈メモ 1」、「ジョブ注釈メモ 2」欄に、適宜テキストメッセージを入力します。これらの欄には、課金情報のためにユーザやジョブ情報などの情報を入力することができます。これらのメモは、Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler およびジョブログに表示されます。この情報はオペレータによって編集または削除されません。

ジョブについてのオペレータへの指示を「指示」欄に適宜入力します。この指示は、Command WorkStation および Fiery WebSpooler / Fiery Spooler に表示されます。ジョブログには表示されません。オペレータはこの指示の編集ができます。

- カラー設定

「カラー設定」ではカラー管理設定を行います。この設定については、『カラーガイド』を参照してください。

- プリンタ固有機能

プリンタ固有オプションをジョブごとに設定できます。



ここに表示されるオプションは Fiery Spark Pro およびプリンタに固有のもので、これらのオプション設定は Fiery Spark Pro 「設定」より優先されます。(すべてのオプションを表示するにはスクロールしてください)。これらの設定は Command WorkStation の「プロパティ」、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスでも変更可能です。

プリンタに固有のオプションに関しては「付録 A：プリントオプションの設定」を参照してください。

「プリンタの初期設定」を選ぶと印刷ジョブは Fiery Spark Pro 「設定」または工場出荷値に基づいて印刷されます。

注意： プリントオプションによっては、「一般設定」欄またはアプリケーションで指定可能なものがありますが、「プリンタ固有機能」欄で指定してください。「一般設定」欄またはアプリケーション提供オプション欄で指定すると適切に印刷できなかったり、処理に時間がかかることがあります。

注意： 競合するオプションを選択した場合は、警告ダイアログボックスが表示されることがあります。競合を解消するには、表示された指示に従ってください。

14. 変更後の設定をこのコンピュータのデフォルト値として保存する場合は「設定を保存」をクリックします。

15. 「プリント」をクリックします。

## Drop Folders を使用しての印刷

Mac OS 対応コンピュータに Drop Folders ソフトウェアをインストールすると、Drop Folders ソフトウェアのエイリアス、「Spark Direct」、「Spark Print」、および「Spark Hold」それぞれのエイリアスがデスクトップ上に作成されます。この Drop Folders エイリアスにファイルを「ドロップ」するだけで、プリントサーバに印刷できます。

Drop Folders を使用しての印刷は、PostScript、EPS、TIFF、および PDF ファイルに限られていますが、一度、上記のフォーマットでファイルを作成すると、印刷するためだけにファイル作成に使用したアプリケーションを作動させる必要はありません。また、アプリケーションから印刷するよりも Drop Folders を使用する方が、早く印刷できます。

Mac OS 対応コンピュータでのエイリアス作成の方法については『使用開始ガイド』参照してください。

---

### Drop Folders を使用して印刷するには

1. PDF、EPS、TIFF、または PostScript ファイルを作成します。これらを作成する際、適切なプリントオプションを選択し Fiery Spark Pro 内蔵でないフォントをファイルに含めます。  
  
Fiery Spark Pro の内蔵フォント名は、Fiery Downloader のフォント一覧（「第 4 章：ファイルとフォントのダウンロード」参照）で確認してください。  
  
注意：ファイルを保存している場所にそのまま保存しておきたい場合は、ここでファイルのコピーを作成してください。
2. デスクトップ上の Drop Folders ソフトウェアエイリアスをダブルクリックし、Drop Folders を起動します。
3. 「Spark Direct」、「Spark Print」、または「Spark Hold」にファイルをドラッグ・ドロップします。

「Spark Direct」エイリアスにドロップされたファイルは直接接続に、「Spark Print」エイリアスにドロップされたファイルはPrintキューに、そして「Spark Hold」エイリアスにドロップされたファイルはHoldキューに送信されたかのようにファイルは処理されます。

処理後、「Spark Print」および「Spark Hold」エイリアスにドロップされたファイルはそれぞれのDrop Folders内のPrintedまたはHeldフォルダに保存されます。「Spark Direct」エイリアスにドロップされたファイルは保存されず削除されます。



## 第 3 章： UNIX ワークステーションからの印刷

UNIX® から直接 Fiery Spark Pro への印刷が可能です。Fiery Spark Pro で印刷されるジョブは Fiery Spark Pro 印刷または待機キューに送られ、ネットワーク上の Command WorkStation または Mac OS / Windows 対応コンピュータから Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用して操作することができます。

注意：印刷ジョブを待機キューに送信する場合、そのジョブを印刷するには Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler からオペレータが介入操作する必要があります。待機キューに送られたジョブはディスクにスプールされ、オペレータが介入操作するまでそこに留まります。

キュー名と Fiery Spark Pro プリンタ名は、システム管理者によって設定されています。使用可能なキュー名に関してはシステム管理者に問い合わせてください。

TCP/IP からの印刷設定に関する情報は、UNIX システムの説明書を参照してください。

### Fiery Spark Pro への印刷

UNIX コマンドを使用して、PostScript ファイルおよびテキストファイルを Fiery Spark Pro で印刷することができます。通常、基本的な印刷コマンド (lpr、lpq、lprm) で印刷ジョブを Fiery Spark Pro に送ります。UNIX コマンドに関する情報は UNIX 説明書を参照してください。

注意：PostScript およびテキストファイルのみが UNIX から Fiery Spark Pro で印刷可能です。

---

UNIX から印刷するには :

- SunOS 4.1.x など BSD 版 UNIX システムでは、lpr コマンドを使用して Fiery Spark Pro にジョブを送ります。

```
lpr < -Pprinter> < -#copies> <filename>
```

例 ) Fiery Spark Pro の印刷キュー Print\_Server で、Sample という名前のファイルを 2 部印刷する場合 :

```
lpr -PPrint_Server -#2 Sample
```

- Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムでは、lp コマンドを使用して Fiery Spark Pro にジョブを送ります。

```
lp -d <printername> {-n <#copies>} <filename>
```

例 ) Fiery Spark Pro の印刷キュー Print\_Server で、Sample という名前のファイルを 2 部印刷する場合 :

```
lp -d Print_Server -n 2 Sample
```

---

キュー内のジョブ一覧を表示するには :

- SunOS 4.1.x など BSD 版 UNIX システムでは、lpq コマンドを使用してキュー内の印刷ジョブを表示します。

```
lpq <-Pprinter>
```

例 ) Fiery Spark Pro の印刷キュー Print\_Server で、その内容を表示する場合 :

```
lpq -PPrint_Server
```

ワークステーションにキューの内容が表示されます。

- Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムでは、lpstat コマンドを使用してキュー内の印刷ジョブを表示します。

```
lpstat -o <printername>
```

例 ) Fiery Spark Pro の印刷キュー Print\_Server で、その内容を表示する場合 :

```
lpstat -o Print_Server
```

ワークステーションにキューの内容が表示されます。

---

### キューからジョブを削除するには：

注意： root ユーザとしてログインしない限り、自分のジョブ以外は削除できません。

- SunOS4.1.x など BSD 版 UNIX システムでは、lprm コマンドを使用してキューからジョブを削除します。

```
lprm <-Pprinter> <job#...>
```

lpq コマンドを使用して job# を得ます。

例 ) job# が 123 のジョブを印刷キュー Print\_Server から削除する場合：

```
lprm -PPrint_Server 123
```

このコマンドにより、すべての削除されるファイル名が表示されます。

- Solaris 2.x など System V 版 UNIX システムでは、cancel コマンドを使用してキューからジョブを削除します。

```
cancel <printername> <job ID>
```

例 ) job# が 123 のジョブを印刷キュー Print\_Server から削除する場合：

```
cancel Print_Server 123
```



## 第 4 章： ファイルとフォントのダウンロード

Fiery Downloader を使用するとファイルを作成したアプリケーションを使用することなく Fiery Spark Pro に直接 PostScript、EPS( Encapsulated PostScript )、TIFF( Tagged Image File Format )、および PDF ( Portable Document Format ) ファイルを送信して印刷できます。Fiery Downloader を使用して、Fiery Spark Pro 内蔵の欧文プリンタフォントの管理も可能です。

リモートワークステーションおよび Command WorkStation から Fiery Downloader を使用できます。Fiery Downloader を使用するにはネットワーク接続が必要です。サポートされているネットワークプロトコルについては、『使用開始ガイド』を参照してください。

注意：「ファイル」メニューの「フォント保存」と「フォント復帰」はシステム管理者用コマンドです。一般ユーザは使用しないでください。詳細は『設定管理ガイド』を参照してください。

注意：Windows 用および Mac OS 用 Fiery Downloader の機能およびインターフェイスは基本的には同じものですが、異なる場合は両方を表示します。同一の場合は Windows の画面を表示します。

### Fiery Downloader

Fiery Downloader は次の機能を提供します。

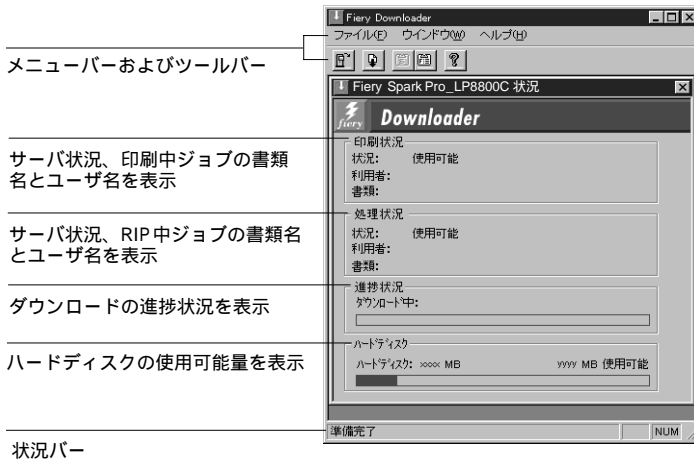
- PostScript、EPS、TIFF、PDF ファイルの Fiery Spark Pro への印刷
- Fiery Spark Pro の状況確認
- Fiery Spark Pro サーバ内蔵ハードディスク上の欧文 PostScript プリンタフォントの管理

注意： Fiery Downloader は Fiery Spark Pro 専用です。他のプリンタでは使用できません。

Fiery Downloader で情報を表示するには：

1. Fiery Downloader を起動します。
2. 「セレクト」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro を選択し、「OK」(Windows) または「接続」(Mac OS)をクリックします。

Fiery Downloader の「状況」ウィンドウが現れます。その上部にメニューバーとツールバーが、下部に状況バーが表示されます。



注意：実際の画面では、xxxx 部分にハードディスク容量、yyyy 部分にハードディスク空き容量が表示されます。

ツールバーのアイコンボタンをクリックして以下の機能を実行することができます。



開く

他の Fiery Spark Pro に接続します。



ダウンロード

Fiery Spark Pro にファイルまたは欧文フォントをダウンロードします。



状況ウィンドウの表示

Fiery Spark Pro の状況ウィンドウを表示します。



フォントリストの表示

Fiery Spark Pro ハードディスク内のプリンタフォント名を一覧表示します。



ダウンローダについて

Fiery Downloader のバージョン情報を表示します。

(Windows のみ)

フォント情報を表示するには「フォントリストの表示」ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューから「フォントリスト」を選択してください。

3. 他の Fiery Spark Pro を選択するには、「ファイル：開く」を選択、または「開く」ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで Fiery Spark Pro を選択して、「OK」(Windows)または「接続」(Mac OS)をクリックします。
4. Fiery Spark Pro との接続を解除するには、その Fiery Spark Pro 用「状況」ウィンドウをアクティブにし、「ファイル：閉じる」を選択します。
5. Fiery Downloader を終了するには、「ファイル：終了」を選択します。

## Fiery Downloader を使った印刷

多くのアプリケーションからの印刷と比べ、Fiery Downloader を使ってファイルを印刷するとかなりの高速印刷が可能です。印刷するファイルのサイズが大きい場合には、Fiery Downloader での印刷をおすすめします。

Fiery Downloader でファイルまたはフォントをダウンロードするには：

1. アプリケーションを使ってファイルを作成します。

アプリケーションからの印刷時に、ファイルへ出力することにより PostScript ファイルとして保存できます。アプリケーションによっては、EPS、TIFF、または PDF ファイルとして保存 / 出力することもできます。

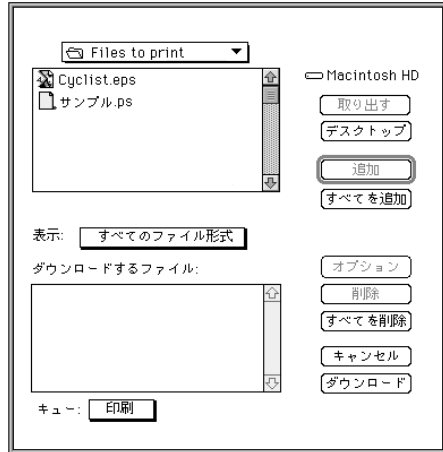
EPS ファイルを Fiery Downloader で印刷するとき問題が生じた場合は、そのファイルを作ったアプリケーションからファイルを直接印刷してください。

2. Fiery Downloader を起動します。
3. 「ファイル:ダウンロード」を選択するか、「ダウンロード」ボタンをクリックします。



Windows 版





Mac OS 版

4. 「ファイルの種類」(Windows)または「表示」(Mac OS)ポップアップメニューでファイル形式を選択します。

ここはデフォルトの「すべてのファイル形式」のままにしておくか、「すべてのファイル」を選ぶことができます。「すべてのファイル形式」の場合はFiery Downloaderでサポートされている形式のすべてのファイルが一覧表示されます。「すべてのファイル」ではすべてのファイルが一覧表示されます。

備考：ファイルと欧文フォントを一つのバッチ処理としてダウンロードすることが可能です。同一バッチのファイル内で使用されているフォントをダウンロードする場合はフォントを先にダウンロードします。

5. 「接続タイプ」(Windows)または「キュー」(Mac OS)ポップアップメニューでファイルやフォントのダウンロード先を選択します。

「印刷(キュー)」、「待機(キュー)」、または「直接(接続)」の中から選択が可能です。ネットワーク管理者が使用可能にしていない接続タイプは選択できません。

直接接続での PDF ファイルの印刷はできません。直接接続を選択して PDF ファイルをダウンロードした場合、ジョブは印刷キューにスプールされ、その後印刷されます。印刷キューが使用可能になっていない場合、ジョブは待機キューにスプールされます。この場合、ジョブを印刷するにはオペレータの介入が必要です。

注意：フォントをダウンロードするには、直接接続を使用する必要があります。Fiery Spark Pro「設定」で「プリンタ設定：プリンタ接続：直接接続開放」が「はい」になっていることを確認してください。直接接続の使用が不可能で、ダウンロードするファイル内にFiery Spark Pro内蔵以外の特別フォントが使用されている場合、そのフォントをダウンロードファイル作成時に含める必要があります。

6. ファイル名を選択し、「ファイルの追加」(Windows)または「追加」(Mac OS)をクリックします。

Windows の場合、「ファイル名」欄に選択されたファイル名が表示されます。

他のドライブやディレクトリに属するファイルをダウンロードする場合は、ダイアログボックスで希望のドライブやディレクトリを選択してください。Mac OS では、「すべてを追加」をクリックすると、フォルダ内のファイルをすべて追加できます。

Windows の場合、隣接する複数のファイルを選択するには、最初のファイルを選択し、Shift キーを押しながら最後のファイルをクリックします。隣接しない複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながらファイルをクリックします。

ダウンロードするファイル中からファイルを削除する場合は、「ダウンロードするファイル」の中からそのファイル名を選択して「ファイルの削除」(Windows)または「削除」(Mac OS)をクリックします。

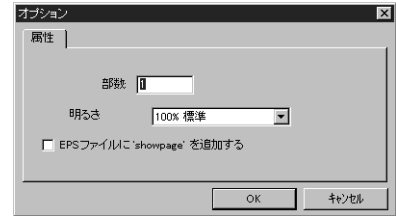
Mac OS では、「すべてを削除」をクリックすると「ダウンロードするファイル」一覧内のファイルをすべて削除できます。

7. ジョブの属性を変更するには、ファイル名を選択し「オプション」をクリックします。下図ではPDF ファイルの「オプション」ダイアログボックスを左側に、PostScript および EPS ファイルのダイアログボックスを右側に示します。

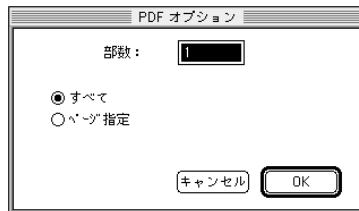
注意： TIFF ファイルに関してはオプションの変更はできません。



Windows PDF オプション



Windows PostScript オプション



Mac OS PDF オプション



Mac OS PostScript オプション

8. ダイアログボックスに次の設定を入力し、「OK」をクリックします。

ここで設定する「オプション」は選択されたファイルにのみ適用されます。各ファイルごとに異なる「オプション」を設定したり、デフォルト設定のままにしておくこともできます。

- 部数

印刷部数を指定します。

- 明るさ (EPS および PostScript ファイルのみ)

ファイルの印刷が暗すぎたり、明るすぎる場合に「明るさ」設定を変更します。画像を非常に明るくしたい場合は 85% を、非常に暗くしたい場合には 115% を、あるいはその中間オプション値を選択してください。

注意： Adobe Photoshop などのアプリケーションでは、トランスファ関数によって画像の濃度を設定できるものがあります。印刷するファイルにトランスファ関数で変更を加えてあれば、Fiery Downloader の「明るさ」オプションを指定しても印刷出力に変化が見られないことがあります。トランスファ関数の詳細については、アプリケーションの使用説明書を参照してください。

- EPS ファイルに `showpage` を追加する ( Windows )、showpage の追加 ( Mac OS ) ( EPS および PostScript ファイルのみ )

注意：ほとんどの場合、このオプションを使用する必要はありませんが、`showpage` の追加オプションがなければ EPS ファイルを印刷できないという場合に、このオプションを選択してください。これは `showpage` PostScript 言語コマンドを印刷ジョブの最後に付けるオプションです。アプリケーションによっては、EPS ファイルを生成するときに、この必須 PostScript 言語コマンドを省略するものがあります。このようなアプリケーションで EPS ファイルを印刷するときは、`showpage` 追加オプションを選択しなければなりません。不必要なときにこのオプションを選択すると、白紙ページが 1 ページ余分に出てきます。

- ページ指定 ( PDF ファイルのみ )

印刷するページ範囲を指定します。

#### 9. 「ダウンロード」をクリックします。

ダウンロードを取消すには、キーボード上で Windows では Esc キーを、Mac OS ではコマンド + ピリオドを押します。

注意： Fiery Downloader から EPS ファイルを印刷できない場合は、アプリケーションから直接印刷してください。

## 欧文プリンタフォントのダウンロードと管理

Fiery Spark Pro では 2 書体の和文フォント以外に 136 書体の欧文フォントが提供されています。提供されているフォントについては「付録 B : Fiery Spark Pro 提供フォント」を参照してください。さらに PDF ファイル印刷時のフォント置換用に 2 書体の欧文 Adobe Multiple Master フォントが含まれています。

注意： フォントのダウンロード、管理および表示を行うには、Fiery Spark Pro 「設定」で「プリンタ設定：プリンタ接続：直接接続開放」が「はい」になっていることが必要です。

ダウンロードするファイル内に Fiery Spark Pro サーバ内蔵以外の特別フォントが使用されている場合(ファイルにそのフォントが含まれていない場合は) ファイルをダウンロードする前にそのフォントをダウンロードする必要があります。どのフォントが Fiery Spark Pro サーバ内蔵かを見るには「ファイル」メニューから「フォントリスト」を選択するか、「フォントリストの表示」ボタンをクリックしてフォントリストを表示します(4-3 頁参照)。

フォントのダウンロードは、直接接続でのみ可能です。直接接続が使用不可能な場合は、ダウンロードファイル作成時に、ファイル内で使用されている Fiery Spark Pro サーバ内蔵以外のフォントをすべて含める必要があります。

Fiery Spark Pro サーバ内蔵プリンタフォントに対応したスクリーンフォントは、Windows システムに自動的にインストールされません。

注意： Fiery Downloader では、TrueType フォントや和文フォントのようなコンポジットフォントはダウンロードできません。

注意： Windows で True Type フォントを使用している場合、Adobe Type 1 フォントに置換して印刷できます。Windows 95/98/Me 用 Adobe PostScript プリンタドライバを使用している場合は、「フォント」タブをクリックし、適宜「フォント置き換えテーブル」を設定します。Windows NT 4.0 の場合は、プリンタの「ドキュメントの既定値」の「PostScript」タブをクリックし、「TrueType フォント」欄の「TrueType フォント設定」で「ソフトフォントとしてダウンロード」を選択します。Windows 2000 の場合は、プリンタの「印刷設定」で「詳細設定」をクリックし、「TrueType フォント」欄で「ソフトフォントとしてダウンロード」を選択します。

## プリンタフォントと Mac OS スクリーンフォント

すべての PostScript フォントの場合同様、Fiery Spark Pro に含まれているフォントも 2 種類のフォント形式(プリンタフォントとスクリーンフォント)で提供しています。プリンタフォントは、Fiery Spark Pro サーバのハードディスクに常駐するフォントとしてインストールされます。スクリーンフォントは、Fiery Spark Pro を使用する Mac OS 対応コンピュータにインストールするフォントです。スクリーンフォントのインストール方法は、『使用開始ガイド』を参照してください。

Fiery Spark Pro が提供していない Adobe Type 1 フォント(Windows)または PostScript フォント(Mac OS)を使う場合は、フォントメーカーからの説明書に従って、スクリーンフォントおよびプリンタフォントをインストールしてください。

## Fiery Spark Pro へのプリンタフォントのダウンロード

Mac OS の場合は通常、Fiery Spark Pro サーバにインストールされていない欧文フォントが書類で使用されると、プリンタフォントがシステムフォルダにインストールされている限り、アプリケーションから印刷するたびに、そのフォントはアプリケーションによって自動的にダウンロードされます。これらのフォントが Fiery Spark Pro サーバ上にあるのは書類が印刷されている間だけです。同じ書類を再び印刷する場合、アプリケーションは再びフォントをダウンロードします。

Fiery Spark Pro サーバにインストールされていない欧文フォントで、Mac OS のアプリケーションまたは Windows のアプリケーションから頻繁に使うフォントは、Fiery Downloader を使って Fiery Spark Pro サーバのハードディスクにダウンロードしておくことで時間の節約になります。ハードディスクにダウンロードした欧文フォントは、Fiery Downloader を使って削除するまでは、電源のオン・オフを繰り返しても消えないので、頻繁に使う欧文フォントは Fiery Spark Pro サーバハードディスクにダウンロードしておくことを推奨します。

Fiery Downloader でファイルをダウンロードする場合、あらかじめそのファイルで使われているフォントが、すべて Fiery Spark Pro サーバにインストールされているか、もしくはファイルに含まれていることを確認してください。そうでない場合は、該当フォントの文字が正しく印刷されなかったり、書類がまったく印刷されないことがあります。

PDF ファイルをダウンロードする場合、Fiery Spark Pro サーバにインストールされていないフォントは自動的にフォント置換が行われます。2 書体の欧文 Adobe Multiple Master フォントが PDF ファイルのフォント置換用に Fiery Spark Pro サーバに内蔵されています。和文 PDF ファイル内の Fiery Spark Pro サーバにインストールされていないフォントは、自動的に平成角ゴシック、平成明朝に置き換わります。

フォント情報を表示、更新、印刷、削除するには：

注意：フォントのダウンロード、管理、およびフォントリストの表示を行うには、Fiery Spark Pro「設定」の「プリンタ設定：プリンタ接続」で「直接接続開放」が「オン」になっている必要があります（『設定管理ガイド』参照）。ジョブを直接接続に印刷するには、『設定管理ガイド』を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

- 「ファイル：フォントリスト」を選択するか、「フォントリストの表示」ボタンをクリックします。

「フォントリスト」ウィンドウが現れ、その中に更新、印刷、削除のアイコンが表示されます。Fiery Spark Pro 提供の内蔵プリンタフォントはロックされています。これらのロックされているフォントはフォント名の横にロックアイコンが表示されており、削除することはできません。







## 第 5 章： 印刷ジョブの管理

Fiery Spark Pro ユーザソフトウェアでは印刷ジョブの管理のために様々なツールが提供されています。ユーザの持つそれらのツールへのアクセス権はシステム管理者によって決められています。

- Command WorkStation、Fiery WebSpooler、Fiery Spooler

これらのツールを使用すると Fiery Spark Pro へ送られた印刷ジョブのフローの表示 / 管理が可能です。管理者が Fiery Spark Pro 「設定」で「システム管理者」パスワードおよび「オペレータ」パスワードを設定している場合、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の機能のほとんどを使用する際にこれらのどちらかのパスワードが必要です。これらのツールおよびアクセス権についての詳細は『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

- 「状況」WebTool、「WebLink」WebTool、「プリンタモニタ」WebTool

これらのツールは特別なアクセス権を必要としません。Fiery Spark Pro の IP アドレスがユーザに提供されている場合、このツールはどのユーザでも使用できます。

## Fiery WebTools

Fiery WebTools は Fiery Spark Pro に内蔵されていますが、ネットワーク上のさまざまなプラットフォームからアクセス可能です。Fiery Spark Pro にはホームページがあり、リモートユーザはそこで Fiery Spark Pro 機能の表示やジョブの操作などができます。本章では「状況」、「WebLink」、および「プリンタモニタ」WebTool について説明します。「WebSpooler」WebTool に関しては『ジョブ管理ガイド』を、「インストーラ」WebTool に関しては『使用開始ガイド』を参照してください。

---

Fiery WebTools にアクセスするには：

1. Web ブラウザを起動します。  
サポートされているプラットフォームおよびブラウザのバージョンについては『使用開始ガイド』を参照してください。
2. Fiery Spark Pro サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。  
この情報についてはシステム管理者またはオペレータに問い合わせてください。
3. 「ログイン」ダイアログボックスが現れたら、「ゲスト」を選択し、「OK」をクリックします。  
このダイアログボックスは、システム管理者がパスワードを設定している場合のみ表示されます。「ゲスト」アクセスでも「状況」、「WebLink」、「プリンタモニタ」WebTool を使用できます。
4. Fiery Spark Pro のホームページが現れたら、必要な WebTool をクリックします。  
WebTool 名の上にカーソルを動かすとそのツールの情報が表示されます。

## 「状況」WebTool での Fiery Spark Pro の状況のチェック

「状況」WebTool を使用して Fiery Spark Pro の現在の処理および印刷状況を表示できます。

「状況」WebTool にアクセスするには、Fiery Spark Pro ホームページで「状況」をクリックします。現在の RIP 状況および印刷状況がウィンドウに現れます。



状況表示用に別のウィンドウを開くには、「フロート」をクリックします。Fiery Spark Pro 「状況」フロートウィンドウが現れます。もとのウィンドウを閉じてフロートウィンドウのみをデスクトップに残しておくことができます。このウィンドウ上の Fiery Spark Pro の状況は自動的に更新されます。

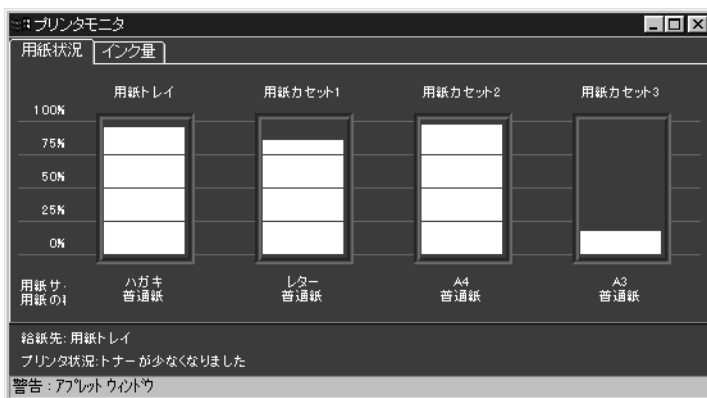
さらに詳しいジョブの状況情報を得るには、Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用してください（『ジョブ管理ガイド』参照）。

## 「WebLink」WebTool での情報アクセス

Fiery Spark Pro ホームページで「WebLink」をクリックすると、リンクされている Web ページにアクセスできます（有効なインターネット接続が設定されている場合）。リンク先のデフォルトは [www.i-love-epson.co.jp](http://www.i-love-epson.co.jp) に設定されています。リンク先の変更はシステム管理者によって行われます。リンク先変更に関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

## 「プリンタモニタ」WebTool でのトナー状況確認

「プリンタモニタ」WebTool では用紙およびトナーの使用状況が表示されます。



## 付録 A : プリントオプションの設定

プリントオプションを指定することにより、ユーザは Fiery Spark Pro 提供のすべての機能を利用できます。プリントオプションは Fiery Spark Pro 「設定」、アプリケーション、Fiery Downloader、ColorWise Pro Tools、Command WorkStation、および Fiery WebSpooler / Fiery Spooler で設定できます。ここではプリントオプションの内容、デフォルト設定、制限 / 必要条件を説明します。

### プリントオプションの設定場所

- Fiery Spark Pro 「設定」での設定  
プリントオプション初期設定値のいくつかは、システム管理者により Fiery Spark Pro 「設定」時に設定されます。現在の Fiery Spark Pro のデフォルト設定に関しては、設定情報ページ (Command WorkStation から印刷) を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。
- アプリケーションでの設定  
Fiery Spark Pro ユーザソフトウェア CD から PostScript プリントドライバをインストールすると、ジョブの印刷時にプリントオプションの書き換えができます。アプリケーションからプリントオプションを設定する方法に関しては「第 1 章 : Windows 対応コンピュータからの印刷」および「第 2 章 : Mac OS 対応コンピュータからの印刷」を参照してください。

- Fiery Downloader での設定

Fiery Downloader を使用してジョブを印刷する場合、「ページ指定」( PDF ファイルのみ )、「部数」および「明るさ」( EPS または PostScript ファイルのみ ) が設定できます。これらのオプションを設定するには、「ダウンロードするファイル」一覧の中でジョブを選択し「オプション」をクリックします。詳細は「第 4 章：ファイルとフォントのダウンロード」を参照してください。

- ColorWise Pro Tools での設定

ColorWise Pro Tools を使用すると「RGB ソースプロファイル」、「RGB 色分解」、「CMYK シミュレーションプロファイル」、「CMYK シミュレーション方法」および「出力プロファイル」のデフォルト値を設定できます。ColorWise Pro Tools についての詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

- Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler での設定

Command WorkStation でジョブのプリントオプションを変更するには、ジョブを選択し「ジョブ：プロパティ」を選択するか、ジョブをダブルクリックして「プロパティ」ダイアログボックスを表示します。Fiery WebSpooler / Fiery Spooler でプリントオプションを変更するには、「編集：プリント設定の書き換え」を選択するか、ジョブを選択しダブルクリックして、「プリント設定の書き換え」ダイアログボックスを表示します。詳細は『ジョブ管理ガイド』を参照してください。

## プリントオプション書き換えの優先順位

プリントオプション書き換えの優先順位は、以下のとおりです。

- ユーザがアプリケーション または Fiery Downloader で設定したプリントオプションは、Fiery Spark Pro<sup>®</sup> 設定 および ColorWise Pro Tools での設定値を書き換えます。
- Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler 設定したプリントオプションは、ユーザがアプリケーション または Fiery Downloader で設定したプリントオプションを書き換えます。

## プリントオプションの詳細

次表の選択項目の下線は PPD のデフォルト設定を表します。プリンタオプションの変更を一切しないで印刷する場合、Fiery Spark Pro は下線の引いてあるデフォルト設定値に基づいて印刷します。

Fiery Spark Pro「設定」および Command WorkStation でデフォルト値を設定できるプリントオプションで、「プリンタの初期設定」を選択すると、Fiery Spark Pro は設定されたデフォルト値でジョブを印刷します。Fiery Spark Pro「設定」および Command WorkStation でデフォルト値を設定できないオプションで「プリンタの初期設定」を選択すると、Fiery Spark Pro は工場出荷時のデフォルト値でジョブを印刷します。詳細は次表の「制限 / 必要条件」を参照してください。

現在選択されているデフォルト値を確認するには、Command WorkStation から設定情報ページを印刷してください。

チェックボックスを選択する形式のオプションでは、チェックボックスを選択すると「オン」または「はい」、選択しないと「オフ」または「いいえ」扱いになります。

プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
部数	<u>1</u> -999	印刷ジョブの部数を指定します。	なし



プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
用紙サイズ	A3W (ノビ) / A3 / A4 / A5 / B4 / B5 / レター / HLT / リーガル / Executive / GLG / GLT / Ledger / F4 / ハガキ / カスタム	印刷に使用する用紙のサイズを指定します。	Fiery Spark Pro「設定」の「PS 設定：デフォルト用紙サイズ」での設定値でデフォルト値が決まります。「日本式」の場合は「A4」、「アメリカ式」の場合は「レター」になります。  このオプションで「A3W (ノビ)」を選択するには、「給紙トレイ」で「自動用紙選択」、「用紙トレイ」、「カセット 1」が選択されている必要があります。  「A5」、「HLT」を選択するには、「給紙方法」で「自動用紙選択」、「用紙トレイ」が、「排紙」で「フェイスアップトレイ」が選択されている必要があります。  「GLG」、「F4」、「GLT」、「Executive」を選択するには、「給紙トレイ」で「自動用紙選択」、「用紙トレイ」が選択されている必要があります。 A3 サイズでの印刷にはメモリの増設が必要です（『使用上の注意』参照）  サポートされている用紙サイズの詳細はプリンタの取扱説明書を参照してください。





プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
給紙トレイ ( Windows 95/98/ Me/NT4.0 )  または  給紙方法 ( Windows 2000、 Mac OS )	<u>自動用紙選択</u> ( Windows )/ <u>自動選択 ( Mac OS )</u> / 用紙トレイ / 用紙カセット 1 / 用紙カセット 2 / 用紙カセット 3	印刷する用紙の入った給紙トレイを指定します。  「自動用紙選択」または「自動選択」を選択すると、ユーザが指定した用紙サイズが格納されている給紙トレイから自動的に給紙します。	用紙サイズによっては用紙カセットが使用できません。詳細はプリンタ取扱説明書を参照してください。
用紙の種類	<u>プリンタの初期設定</u> / 普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色付き / OHPシート / ラベル / 厚紙 / 厚紙 ( 裏面 ) / 特厚紙 / 特厚紙 ( 裏面 ) / コート紙光沢 / コート紙光沢 ( 裏面 ) / 指定しない	使用する用紙の種類を指定します。	このオプションで「OHPシート」、「厚紙」、「ハガキ」を選択するには、「排紙」で「フェイスアップトレイ」が選択されている必要があります。

# A

## A-6 プリントオプションの設定

プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
両面	オフ / 短辺綴じ / 長辺綴じ	両面印刷するかどうか、また両面印刷する場合に排紙方向を指定します。	このオプションで「オフ」以外を選択するには、「用紙サイズ」で「A3W (ノビ)」、 「A5」、 「HLT」以外が、「用紙の種類」で「OHPシート」、 「厚紙」以外が選択されている必要があります。  このオプションが「オフ」以外に設定されていて、「印刷の一時停止」が選択された場合、「印刷の再開」を選択しても印刷は再開されません。ジョブを再送信する必要があります。  このオプションを使用するには、プリンタに両面印刷ユニットが装着されている必要があります。  (A-14 頁参照)
排紙	フェイスアップトレイ / フェイスダウントレイ	「フェイスアップトレイ」を選択すると印刷面が上向きに排紙され、「フェイスダウントレイ」を選択すると下向きに排紙されます。	このオプションで「フェイスダウントレイ」を選択するには、「用紙のサイズ」で「A5」、 「HLT」以外が、「用紙の種類」で「OHPシート」、 「厚紙」以外が選択されている必要があります。  詳細はプリンタ取扱説明書を参照してください。
拡大縮小 (Mac OS では「倍率」)	25% ~ 400%	印刷時の拡大縮小率を指定します。	Fiery WebSpooler では選択肢からのみ設定可能です。

# A

## A-7 プリントオプションの詳細

プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
カラーモード ( Windows 2000 / Mac OS ) または 印刷モード ( Windows 95/98/ Me/NT 4.0 )	「カラーモード」の場合： <u>プリンタの初期設定</u> / カラー / グレースケール  「印刷モード」の場合： <u>標準カラー</u> / エキスパートカラー / グレースケール	印刷ジョブのカラーモードを指定します。  カラー書類には「カラー」、「標準カラー」、または「エキスパートカラー」を、グレースケールまたは白黒の書類には「グレースケール」を選択します。	Fiery Spark Pro 「設定」の「PS 設定：カラーモード」での設定値がプリンタの初期設定値です。  「グレースケール」を選択すると、「カラーの表現」での設定が適用されません。
RGB ソースプロファイル	<u>プリンタの初期設定</u> / EFIRGB / sRGB ( PC ) / Apple 標準 / カスタム / ソース -1 ~ ソース -10 / なし	RGB データ ( 画像、グラフィック、テキスト ) 印刷時に適用される RGB ソース色空間を選択します。  Fiery Spark Pro にダウンロードされているカスタムソースを選ぶ場合は「ソース -1 ~ -10」を、ガンマ、RGB 色度座標、白色点を個々に指定する場合は「カスタム」を、他で指定したソース色空間を書き換えたくない場合は「なし」を選択します。	Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定：RGB ソースプロファイル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。  「ソース -1 ~ -10」を選択する場合は、対応するソースプロファイルが Fiery Spark Pro サーバに保存されている必要があります。 (『カラーガイド』参照)
ガンマ	<u>プリンタの初期設定 (2.2)</u> / 1.0 / 1.2 / 1.4 / 1.6 / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / 2.6 / 2.8 / 3.0	RGB データ ( 画像、グラフィック、テキスト ) 印刷時の、RGB ソース色空間のガンマ値を指定します。	このプリントオプションにアクセスするには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」を選択してください。  (『カラーガイド』参照)



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
白色点	<u>プリンタの初期設定</u> (5000K (D50))/ 5000K (D50) / 5500K / 6500K (D65) / 7500K / 9300K	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト)印刷時の RGB ソース色空間の白色点 (色温度)を指定します。	このプリントオプションにアクセスするには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」を選択してください。 (『カラーガイド』参照)
RGB 色度座標	<u>プリンタの初期設定</u> (SMPTE) / 日立 EBU / 日立・池上 / NTSC / Radius Pivot / SMPTE / ソニートリニトロン	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト)印刷時のモニタの RGB 色度座標を指定します。	このプリントオプションにアクセスするには、「RGB ソースプロファイル」で「カスタム」を選択してください。 (『カラーガイド』参照)
カラーの表現	<u>プリンタの初期設定</u> / 連続調 / ビジネスグラフィック / 相対カラーメトリック / 絶対カラーメトリック	RGB データ (画像、グラフィック、テキスト)印刷時に使用する「カラーの表現」を指定します。	Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定：カラーの表現」での設定値がプリンタの初期設定値です。 (『カラーガイド』参照)
RGB 色分解	<u>プリンタの初期設定</u> / 出力 / シミュレーション	CMYK 色空間での、RGB データの色分解を指定します。  オリジナルの RGB データをプリンタ用 CMYK 色空間で色分解する場合は「出力」を、特定シミュレーション用 CMYK 色空間で色分解する場合は「シミュレーション」を選択します。	Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定：RGB 色分解」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。 (『カラーガイド』参照)



プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
CMYKシミュレ ーション プロファイル	プリンタの初期設定 / SWOP-Coated / DIC / Euroscale / TOYO / J-Color / シミュレーション -1 ~ シミュレーション -10 / 複写機の最良値 / なし	現在の印刷ジョブ用のシ ミュレーションプロファイ ルを指定します。	Fiery Spark Pro の「カラー設定 : CMYKシミュレーションプロファ イル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定 値です。  このオプションはCMYKデータの みに影響します。  「シミュレーション -1」~「シミュ レーション -10」を選択する場 合は、対応するシミュレーションプ ロファイルが Fiery Spark Pro サー バに保存されている必要があります。  このオプションで「複写機の最良 値」、「なし」を選択する場合、 「CMYKシミュレーション方法」で 「プリンタの初期設定」が選択され ている必要があります。  (『カラーガイド』参照)

プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
CMYKシミュレーション方法	プリンタの初期設定 / クイック / フル	<p>シミュレーションの質を指定します。</p> <p>「クイック」シミュレーションでは出力濃度のみを調整します。</p> <p>「フル」シミュレーションでは出力濃度に加えて色合いも調整します。</p> <p>画像サイズおよび解像度によっては、「フル」シミュレーションは「クイック」シミュレーションより時間がかかる場合があります。</p>	<p>Fiery Spark Pro「設定」の「カラー設定 : CMYKシミュレーション方法」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。</p> <p>このオプションで「プリンタの初期設定」以外を選択するには「CMYKシミュレーションプロファイル」で「複写機の最良値」「なし」以外が選択されている必要があります。ただし、分版印刷の場合は「フル」を選択しても色合い調整はおこなわれません。</p> <p>「色分解の組合せ」が「オン」の場合は「クイック」を選択することをおすすめします。</p> <p>(『カラーガイド』参照)</p>

プリント オプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
スポットカラー マッチング	<u>プリンタの初期設定</u> / オン / オフ	<p>「オフ」を選択すると Fiery Spark ProはPANTONEカラーを出力するためにアプリケーションで定義されたCMYK カラー値を使用します。</p> <p>「オン」を選択すると書類内の PANTONE カラーに Fiery Spark Pro 提供のカラー値が適用されます。</p>	<p>Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定:スポットカラーマッチング」での設定値がプリンタの初期設定値デフォルトです。</p> <p>「CMYK シミュレーションプロファイル」で印刷標準以外のシミュレーションを選択した場合は、このオプションで「オン」を選択します。</p> <p>このオプションはコンポジット印刷のみで使用できます。分版印刷では使用できません。</p> <p>スポットカラーマッチングが「オン」の場合、Adobe Photoshop でダブルトーンやPANTONE ブレンドは使用できません。</p> <p>(『カラーガイド』参照)</p>
テキストと画像 に純ブラック使用	<u>プリンタの初期設定</u> / オン / オフ	<p>「オン」を選択するとブラックのテキストとラインアートはブラックのトナーのみを使用して出力されます。</p> <p>「オフ」を選択するとブラックのテキストとラインアートはCMYK 4色のブラックで出力されます。</p>	<p>Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定:テキストと画像に純ブラックを使用」での設定値がプリンタの初期設定値デフォルトです。</p> <p>このオプションは分版印刷では効果がありません。</p> <p>(『カラーガイド』参照)</p>



プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
出力プロファイル	<u>プリンタの初期設定</u> / 出力 -1 ~ 出力 -10	印刷ジョブの出力プロファイルを選択します。  プリンタの初期設定を使用する場合は「プリンタの初期設定」を、カスタム色空間を使用する場合は、「出力 -1」 ~ 「出力 -10」を選択します。	Fiery Spark Pro 「設定」の「カラー設定：出力プロファイル」または ColorWise Pro Tools での設定値がプリンタの初期設定値です。  このオプションはジョブのすべてのデータに影響します。  ColorWise Pro Tools の Color Setup にて「出力プロファイル」の設定値が工場出荷値のまま「プリンタの初期設定」を選択した場合、「スクリーン」プリントオプションで選択する内容に応じて適切な出力プロファイルが選択されます。  「出力 -1」 ~ 「出力 -10」を選択する場合は、対応するシミュレーションプロファイルが Fiery Spark Pro サーバに保存されている必要があります。  (『カラーガイド』参照)
色分解の組合せ	<u>プリンタの初期設定</u> (オフ) / オン / オフ	DTP アプリケーションで、色分解の印刷時に 4 色すべての組合せを 1 ページ上に印刷するときは「オン」を選択します。  各色ごとに 1 枚ずつグレースケールで印刷する場合は「オフ」を選択します。	なし  (A-14 頁参照)
解像度	<u>プリンタの初期設定</u> (300 dpi) / 300 dpi / 600 dpi	解像度を指定します。	なし





プリントオプション	選択項目	オプション内容	制限 / 必要条件
スクリーン	<u>プリンタの初期設定</u> (階調優先)/ 解像度優先/ 階調優先	文字やラインアートをくっきり出力したい場合は「解像度優先」を、写真などの連続調画像を正確な色で出力する場合は「階調優先」を選択します。	なし
明るさ	<u>プリンタの初期設定</u> (100% 標準)/ 85% 非常に明るい/ 90% より明るい/ 95% 明るい/ 100% 標準 / 105% 暗い / 110% より暗い / 115% 非常に暗い	非常に明るくしたい画像には「85%」を、非常に暗くしたい画像には「115%」を、また適宜これらの中間値を選択します。	なし
ジョブ注釈メモ1 ジョブ注釈メモ2 指示		「ジョブ注釈メモ 1」/「ジョブ注釈メモ 2」はジョブ固有の情報入力用です。 「指示」はオペレータへの指示入力用です。	「ジョブ注釈メモ 1」/「ジョブ注釈メモ 2」は最長 31 バイト、「指示」は最長 127 バイトまで入力可能です。

## プリントオプション補足情報

以下ではプリントオプションに関する補足情報を記載します。設定の制限、必要条件については前記の表を参照してください。

### 色分解の組合せ

このオプションはQuarkXPress、Adobe PageMakerなどで作成した色分解データを組み合わせるかどうかを指定し、色分解フィルムを使ったプレス印刷をシミュレートします。この機能により、色分解フィルムを作成する前に、オーバープリント、トラッピング、その他4色刷りの効果を確認および校正することができます。またこの設定を使用すると、低解像度のマスターファイルを印刷する代わりに、デスクトップカラーセパレーション（DCS）形式ファイルを組合わせた、フル解像度の印刷が可能となります。Fiery Spark Pro で最良のカラー出力結果を得るには、印刷画像に適した「カラーの表現」を選択します。

これらのアプリケーションから印刷する場合、コンポジットではなく色分解またはDCS形式の印刷を指定する必要があります。指定しない場合はこのオプション設定の効果がありません。

### 両面印刷

Fiery Spark Pro では「両面」オプションで適宜項目を選択することにより、両面印刷ができます。

---

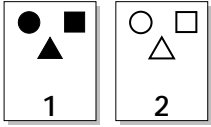
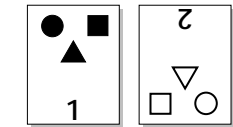
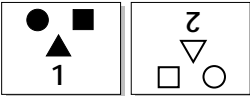
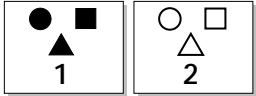
両面印刷するには：

1. アプリケーションの「プリント(印刷)」を選択し、「両面」オプションを見つけます。アプリケーションによりプリントオプションの場所は異なります。詳細は「第1章：Windows 対応コンピュータからの印刷」、「第2章：Mac OS 対応コンピュータからの印刷」を参照してください。

2. 「両面」プリントオプションで、「長辺綴じ」か「短辺綴じ」を選択します。

長辺綴じ 用紙方向が縦の時は表と裏で上下の方向が一致し、横の時は上下の方向が逆になります。

短辺綴じ 用紙方向が縦の時は表と裏で上下の方向が逆になり、横の時は表と裏で上下の方向が一致します。

画像方向	長辺綴じ	短辺綴じ
縦		
横		

3. その他のプリントオプションを適宜設定し「OK」をクリックします。
4. 「プリント(印刷)」をクリックします。



## 付録 B : Fiery Spark Pro 提供フォント

ここでは Fiery Spark Pro 提供の内蔵プリンタフォント名の一覧を表記します。これらのフォントの他に欧文 PDF ファイル用置換フォントとして、2 書体の Adobe Multiple Master フォントが提供されています。和文 PDF ファイル用置換フォントとしては平成角ゴシックおよび平成明朝が適用されます。

注意： Mac OS の場合、ユーザソフトウェア CD からプリンタフォントに対応したスクリーンフォントをインストールしてください。インストール方法については『使用開始ガイド』を参照してください。

### 和文フォント

Fiery Spark Pro には 2 書体の和文 フォントが提供されています。

- 平成角ゴシック (HeiseiKakugo-W5)
- 平成明朝 (HeiseiMin-W3)

### 欧文フォント

#### Adobe Type 1 フォント

Fiery Spark Pro には 126 書体の Adobe Type 1 フォントが含まれています。

Mac OS メニュー名は Mac OS 対応コンピュータのフォントメニューに表示されるフォント名です。例えば、ほとんどのアプリケーションで「Bodoni-Bold」を使用する場合、フォントメニューから Bodoni-Bold を選択します。

Windowsメニュー名は Windows対応コンピュータのフォントメニューに表示されるフォント名です。スタイルは、アプリケーション内で特定の PostScript フォントを指定する場合、選択される必要があります。例えば「Bodoni-Bold」を使用する場合、フォントメニューから Bodoni を、スタイルメニューから Bold を選択します。

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
AlbertusMT-Light	Albertus MT Lt	Albertus MT Lt
AlbertusMT	Albertus MT	Albertus MT
AlbertusMT-Italic	Albertus MT It	Albertus MT, Italic
AntiqueOlive-Roman	Antique Olive Roman	Antique Olive Roman
AntiqueOlive-Bold	Antique Olive Bold	Antique Olive Roman, Bold
AntiqueOlive-Italic	Antique Olive Italic	Antique Olive Roman, Italic
AntiqueOlive-Compact	Antique Olive Compact	Antique Olive Compact
Arial-BoldItalicMT	Arial Bold Italic	Arial, Bold Italic
Arial-BoldMT	Arial Bold	Arial, Bold
Arial-ItalicMT	Arial Italic	Arial, Italic
ArialMT	Arial	Arial
AvantGarde-Book	Avant Garde	AvantGarde
AvantGarde-Demi	Avant Garde Demi	AvantGarde, Bold
AvantGarde-BookOblique	Avant Garde BookOblique	AvantGarde, Italic
AvantGarde-DemiOblique	Avant Garde DemiOblique	AvantGarde, Bold Italic
Bodoni	Bodoni	Bodoni
Bodoni-Bold	Bodoni Bold	Bodoni, Bold
Bodoni-Italic	Bodoni Italic	Bodoni, Italic
Bodoni-BoldItalic	Bodoni BoldItalic	Bodoni, Bold Italic
Bodoni-Poster	Bodoni Poster	Bodoni Poster
Bodoni-PosterCompressed	Bodoni PosterCompressed	Bodoni PosterCompressed
Bookman-Light	Bookman	Bookman
Bookman-Demi	Bookman Demi	Bookman, Bold
Bookman-LightItalic	Bookman LightItalic	Bookman, Italic
Bookman-DemiItalic	Bookman DemiItalic	Bookman, Bold Italic
Carta	Carta	Carta
Clarendon-Light	Clarendon Light	Clarendon Light
Clarendon	Clarendon	Clarendon
Clarendon-Bold	Clarendon Bold	Clarendon, Bold

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
CooperBlack	Cooper Black	Cooper Black
CooperBlack-Italic	Cooper Black Italic	Cooper Black, Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC	Copperplate33bc	Copperplate33bc
Copperplate-ThirtyTwoBC	Copperplate32bc	Copperplate32bc
Coronet	Coronet	Coronet
Courier	Courier	Courier
Courier-Bold	Courier Bold	Courier, Bold
Courier-Oblique	Courier Oblique	Courier, Italic
Courier-BoldOblique	Courier BoldOblique	Courier, Bold Italic
Eurostile	Eurostile	Eurostile
Eurostile-Bold	Eurostile Bold	Eurostile Bold
Eurostile-ExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo	Eurostile BoldExtendedTwo	Eurostile ExtendedTwo, Bold
GillSans	GillSans	GillSans
GillSans-Bold	GillSans Bold	GillSans, Bold
GillSans-Italic	GillSans Italic	GillSans, Italic
GillSans-BoldItalic	GillSans BoldItalic	GillSans, Bold Italic
GillSans-Light	GillSans Light	GillSans Light
GillSans-LightItalic	GillSans LightItalic	GillSans Light, Italic
GillSans-Condensed	GillSans Condensed	GillSans Condensed
GillSans-BoldCondensed	GillSans BoldCondensed	GillSans Condensed, Bold
GillSans-ExtraBold	GillSans ExtraBold	GillSans ExtraBold
Goudy	Goudy	Goudy
Goudy-Bold	Goudy Bold	Goudy, Bold
Goudy-Italic	Goudy Italic	Goudy, Italic
Goudy-BoldItalic	Goudy BoldItalic	Goudy, Bold Italic
Goudy-ExtraBold	Goudy ExtraBold	Goudy ExtraBold
Helvetica	Helvetica	Helvetica
Helvetica-Bold	Helvetica Bold	Helvetica, Bold
Helvetica-Oblique	Helvetica Oblique	Helvetica, Italic
Helvetica-BoldOblique	Helvetica BoldOblique	Helvetica, Bold Italic
Helvetica-Narrow	Helvetica Narrow	Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Bold	Helvetica Narrow Bold	Helvetica-Narrow, Bold

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Helvetica-Narrow-Oblique	Helvetica Narrow Oblique	Helvetica-Narrow, Italic
Helvetica-Narrow-BoldOblique	Helvetica Narrow BoldObl	Helvetica-Narrow, Bold Italic
Helvetica-Condensed	Helvetica Condensed	Helvetica Condensed
Helvetica-Condensed-Bold	Helvetica CondensedBold	Helvetica Condensed, Bold
Helvetica-Condensed-Oblique	Helvetica CondensedOblique	Helvetica Condensed, Italic
Helvetica-Condensed-BoldObl	Helvetica CondensedBoldObl	Helvetica Condensed, Bold Italic
HoeflerText-Ornaments	Hoefler Text Ornaments	Hoefler Text Ornaments
JoannaMT	Joanna MT	Joanna MT
JoannaMT-Bold	Joanna MT Bd	Joanna MT, Bold
JoannaMT-Italic	Joanna MT It	Joanna MT, Italic
JoannaMT-BoldItalic	Joanna MT Bd It	Joanna MT, Bold Italic
LetterGothic	Letter Gothic	Letter Gothic
LetterGothic-Bold	Letter Gothic Bold	Letter Gothic, Bold
LetterGothic-Slanted	Letter Gothic Slanted	Letter Gothic, Italic
LetterGothic-BoldSlanted	Letter Gothic BoldSlanted	Letter Gothic, Bold Italic
LubalinGraph-Book	Lubalin Graph	LubalinGraph
LubalinGraph-Demi	Lubalin Graph Demi	LubalinGraph, Bold
LubalinGraph-BookOblique	Lubalin Graph BookOblique	LubalinGraph, Italic
LubalinGraph-DemiOblique	Lubalin Graph DemiOblique	LubalinGraph, Bold Italic
Marigold	Marigold	Marigold
MonaLisa-Recut	Mona Lisa Recut	Mona Lisa Recut
NewCenturySchlbk-Roman	New Century Schlbk	NewCenturySchlbk
NewCenturySchlbk-Bold	New Century Schlbk Bold	NewCenturySchlbk, Bold
NewCenturySchlbk-Italic	New Century Schlbk Italic	NewCenturySchlbk, Italic
NewCenturySchlbk-BoldItalic	New Century Schlbk BoldIt	NewCenturySchlbk, Bold Italic
Optima	Optima	Optima
Optima-Bold	Optima Bold	Optima, Bold
Optima-Italic	Optima Italic	Optima, Italic
Optima-BoldItalic	Optima BoldItalic	Optima, Bold Italic
Oxford	Oxford	Oxford
Palatino-Roman	Palatino	Palatino
Palatino-Bold	Palatino Bold	Palatino, Bold
Palatino-Italic	Palatino Italic	Palatino, Italic



PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Palatino-BoldItalic	Palatino BoldItalic	Palatino, Bold Italic
StempelGaramond-Roman	StempelGaramond Roman	StempelGaramond Roman
StempelGaramond-Bold	StempelGaramond Bold	StempelGaramond Roman, Bold
StempelGaramond-Italic	StempelGaramond Italic	StempelGaramond Roman, Italic
StempelGaramond-BoldItalic	StempelGaramond BoldItalic	StempelGaramond Roman, Bold Italic
Symbol	Symbol	Symbol
Tekton	Tekton	Tekton
Times-Roman	Times	Times
Times-Bold	Times Bold	Times, Bold
Times-Italic	Times Italic	Times, Italic
Times-BoldItalic	Times BoldItalic	Times, Bold Italic
TimesNewRomanPS-BoldMT	Times New Roman Bold	Times New Roman, Bold
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT	Times New Roman Bold Italic	Times New Roman, Bold Italic
TimesNewRomanPS-ItalicMT	Times New Roman Italic	Times New Roman, Italic
TimesNewRomanPSMT	Times New Roman	Times New Roman
Univers-Extended	Univers Extended	Univers Extended
Univers-BoldExt	Univers BoldExt	Univers Extended, Bold
Univers-ExtendedObl	Univers ExtendedObl	Univers Extended, Italic
Univers-BoldExtObl	Univers BoldExtObl	Univers Extended, Bold Italic
Univers-Light	Univers 45 Light	Univers 45 Light
Univers-Bold	Univers 65 Bold	Univers 45 Light, Bold
Univers-LightOblique	Univers 45 LightOblique	Univers 45 Light, Italic
Univers-BoldOblique	Univers 65 BoldOblique	Univers 45 Light, Bold Italic
Univers	Univers 55	Univers 55
Univers-Oblique	Univers 55 Oblique	Univers 55, Italic
Univers-CondensedBold	Univers 67 CondensedBold	Univers 47 CondensedLight, Bold
Univers-CondensedBoldOblique	Univers 67 CondensedBoldObl	Univers 47 CondensedLight, Bold Italic
Univers-Condensed	Univers 57 Condensed	Univers 57 Condensed
Univers-CondensedOblique	Univers 57 CondensedOblique	Univers 57 Condensed, Italic
ZapfChancery-MediumItalic	Zapf Chancery	ZapfChancery

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
ZapfDingbats	Zapf Dingbats	ZapfDingbats

## TrueType フォント

Fiery Spark Pro には 10 書体の TrueType フォントが含まれています。

PostScript 名	Mac OS メニュー名	Windows メニュー名、 スタイル
Apple-Chancery	Apple Chancery	Apple Chancery
Chicago	Chicago	Chicago
Geneva	Geneva	Geneva
HoeflerText-Black	Hoefler Text Black	Hoefler Text Black
HoeflerText-BlackItalic	Hoefler Text Black	Hoefler Text Black, Italic
HoeflerText-Italic	Hoefler Text	Hoefler Text, Italic
HoeflerText-Regular	Hoefler Text	Hoefler Text
Monaco	Monaco	Monaco
New York	New York	New York
Wingdings-Regular	Wingdings	Wingdings

## 付録 C : トラブルシューティング

本付録では、Fiery Spark Pro の最適性能の維持とトラブルシューティング方法について説明します。

### 最適性能の維持

Fiery Spark Pro プリントシステムでは、通常はプリンタの定期点検や保守あるいは消耗品の再注文などを行う必要があります。これ以外に、システムの性能を維持するために以下の事項を実行することをおすすめします。

- 不必要な双方向通信を削減する

多数のリモートユーザが Fiery ユーティリティまたは Fiery WebTools を使用している場合、特に頻繁に更新を行うと、Fiery Spark Pro の処理速度が低下します。

- ジョブごとの情報を確認してからジョブの印刷時期を決める

印刷設定や用紙の仕様が同じジョブをまとめて印刷するようにして、用紙変更を最小限にとどめてください。また、特別な指示のあるジョブや特殊用紙を必要とするジョブの印刷準備をしている間に、通常のジョブを印刷してください。

- 不要な Command WorkStation と Fiery Spark Pro 間接続を減らす

複数の Fiery Spark Pro が Command WorkStation に接続されている場合、使用していない Fiery Spark Pro の接続を解除すると、通信効率が上がります。

- 「ディスクが一杯です」メッセージ表示中は Fiery Spark Pro 印刷を避ける

このメッセージが表示されたら、「キュー」ウィンドウに長期間待機しているジョブや不要と思われるジョブを削除してください。ディスクスペースが不足しないよう、古いジョブを定期的に削除してください。ジョブの日付は、そのジョブが送信された時のものです。

## トラブルシューティング

いろいろな異常を起こす原因となる基本的な状況がいくつかあります。特殊な問題として取り上げる前に、以下の対策をまず検討してみてください。それでも解決しない場合はシステム管理者に問い合わせてください。

### 印刷上の一般的な問題

印刷上の一般的な問題	対策
Fiery Spark Pro へ接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の利用者が Fiery Spark Pro のキャリブレーション中でないかどうか確認してください。</li> </ul> <p>他の利用者が Fiery Spark Pro のキャリブレーションを行っている場合は、「セレクト」で Fiery Spark Pro を選択することはできますが、接続はできません。これは、一時に一利用者しか Fiery Spark Pro のキャリブレーションを行えないようにすることと、印刷ジョブが予期しないキャリブレーションを使わないことを保証するためにとられている措置です。</p>
選択できない、または表示されないプリント接続方式がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム管理者が、Fiery Spark Pro 「設定」で、プリント接続方式を使用できるように設定する必要があります。使用可能に設定されている接続だけが、選択可能です。</li> </ul>
Fiery ユーティリティまたは Command WorkStation で Fiery Spark Pro に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続が正しく構成されていることを確認してください。</li> </ul> <p>詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。</p>
印刷に時間がかかり過ぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接接続ではなくキューを選択してください。</li> </ul> <p>キューに印刷する場合、処理と印刷の準備ができるまで、ジョブは Fiery Spark Pro サーバに保存されます。一方、直接接続に印刷する場合、ジョブはその前の印刷ジョブの処理が完了するまで、Fiery Spark Pro に送信されずリモートワークステーションで待機します。したがって、ユーザは Fiery Spark Pro にジョブが送られるまで待つことになります。</p>

印刷上の一般的な問題	対策
Fiery Spark Pro が「プリント (印刷)」コマンドに反応しない (何も印刷されない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fiery Spark Pro を現在使用するプリンタとして選択していることを確認してください。 印刷前に Mac OS、Windows、または UNIX ワークステーションから Fiery Spark Pro を現在使用するプリンタとして選択している必要があります。</li> <li>• プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。 プリンタの電源が切られている場合があります。自動パワーセーブモード (余熱モード) になっている場合があります。プリンタがオフであっても、Fiery Spark Pro が作動していれば、Fiery Spark Pro はセレクトに表示されます。</li> <li>• ジョブが PostScript エラーを起こしていないか確認してください。 Command WorkStation、Fiery Spooler、または Fiery WebSpooler を使用するか、オペレータに尋ねてジョブ状況をチェックしてください。これらのアプリケーションでは、PostScript エラーの発生したジョブは赤で表示されます。 Fiery Spark Pro 「設定」で「PS エラー発生まで印刷」オプションで「はい」を選択すると、PostScript エラーが発生した場合その情報を得ることができます。詳細は『設定管理ガイド』を参照してください。</li> </ul>
トレイにない用紙サイズを要求するメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョブを取り消して、次の処置を行ってください。 Fiery Spark Pro 「設定」で「デフォルト用紙サイズ」を「アメリカ式」または「日本式」に変更することによって、用紙サイズを変更できます。 アプリケーションからの印刷の場合は、「ページ (用紙) 設定」ダイアログボックスで用紙サイズを変更してください。</li> </ul>

## 印刷結果の質の問題

特定のアプリケーションでのカラー印刷およびカラー出力の最適化についての詳細は、『カラーガイド』を参照してください。

問題	対策
ジョブのプリント設定と印刷結果が一致しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他所でジョブのプリントオプションの書き換えをしていないかどうか確認してください。 プリントオプションの書き換えについての詳細は、「付録 A : プリントオプションの設定」を参照してください。</li> </ul>
印刷結果の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションに Fiery Spark Pro のプリンタ記述 (PPD) ファイルが必要かどうか確認してください。 Adobe PageMaker から印刷する場合、アプリケーション用に正しく PPD ファイルがインストールされている必要があります。PPD ファイルのインストールについては、『使用開始ガイド』を参照してください。</li> <li>Fiery Spark Pro がキャリブレーションされていることを確認してください。 キャリブレーションについては、『カラーガイド』を参照してください。</li> </ul>
色分解が正しく組合わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルが色分解用に作成されていることを確認してください。</li> <li>色分解または DCS フォーマットを印刷する場合、「色分解の組合せ」プリントオプションを「オン」にしてください。 「色分解の組合せ」オプションが「オン」の場合は、4 色すべてが一枚のページに印刷されます。「オフ」の場合は、4 色の各色対応のページが一枚ずつグレースケールで印刷されます。</li> </ul>
画像のレジストレーションまたはカラーが予期していたものと違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペレータに連絡し、テストページの印刷をしてください。 プリンタに問題があるかもしれません。テストページが正常な出力を示している場合、アプリケーションの中で問題を解決してください。テストページが正常な出力を示さない場合は、キャリブレーションを行うか、別の方法による調節が必要かもしれません。</li> </ul>

問題	対策
印刷したファイルが暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PostScript または EPS ファイルを印刷する場合、アプリケーションまたは Fiery Downloader から「明るさ」オプションを使用し、画像を明るくできます。</li> </ul>
カラー出力が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システム管理者またはオペレータに現在のキャリブレーションについて問い合わせてください。 異なるターゲットを使用しているか、長い間プリンタがキャリブレートされていない場合、キャリブレーションが必要な場合があります。</li> </ul>
カラーファイルがモノクロで印刷される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 印刷設定用 (Mac OS) ダイアログボックスの「カラー設定：カラー」欄で「白黒」が選択されていないことを確認してください。</li> <li>• 「カラーモード」プリントオプションで「グレースケール」ではなく「CMYK」が選択されていることを確認してください。</li> </ul>
デスクトップカラーセパレーション (DCS) 形式の画像が正しく印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーションの「プリント (印刷)」ダイアログボックスで、色分解を送るためのオプションが正しく選択されていることを確認してください。</li> <li>• 印刷しようとするすべての色分解用のファイルがあることを確認してください。</li> <li>• 「色分解の組合せ」オプションを「オン」にしてください。 このオプションを選択すると、高解像度ファイルが組合わされて一つの画像として印刷されます。「オフ」の場合は低解像度のマスターファイルが印刷されます。</li> </ul>
QuickDraw のフィルパターンがベタで印刷される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Adobe PostScript プリンタドライバを使用してください。</li> </ul>

## Fiery Downloader の問題

問題	対策
一般的問題	<ul style="list-style-type: none"><li>• 最新バージョンの Fiery Downloader を使用してください。 Fiery Spark Pro システムソフトウェアをアップグレードした場合、古いバージョンの Fiery Downloader を Mac OS / Windows 対応コンピュータから削除して、新バージョンをインストールしてください。</li><li>• 接続構成が正しく行われていることを確認してください。 『使用開始ガイド』を参照してください。</li></ul>
Fiery Downloader へ接続できない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 他の利用者が Fiery Spark Pro のキャリブレーション中でないかどうか確認してください。 他の利用者が Fiery Spark Pro のキャリブレーションを行っている場合は、「セレクト」で Fiery Spark Pro を選択することはできません。これは、一時に一利用者しか Fiery Spark Pro のキャリブレーションを行えないようにすることと、印刷ジョブが予期しないキャリブレーションを使わないことを保証するためにとられている措置です。</li></ul>



問題	対策
Fiery Downloader を使って EPS ファイルが印刷できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>           • 「オプション」ダイアログボックスの「showpage の追加」(Mac)、または「EPS ファイルに 'showpage' を追加する」(Windows) オプションを使って印刷してみてください。             このオプションをオンにすると、印刷ジョブの最後に 'showpage' PostScript 言語コマンドが追加されます。アプリケーションの中には、EPS ファイル作成時に、ファイルが必要とする PostScript 言語コマンドを省略するものがありますが、このようなアプリケーションで EPS ファイルを印刷する場合は、「EPS ファイルに Showpage を追加する」オプションを選択しておく必要があります。             この処置後も、Fiery Downloader を使った EPS ファイル印刷に問題がある場合は、ファイルを作成したアプリケーションから印刷してみてください。         </li> <li>           • EPS ファイルがプレビューなしで保存されていることを確認してください。            プレビューはページレイアウトアプリケーションに画像を配置する場合に使用されますが、画像を直接ダウンロードする場合には問題発生の原因となります。         </li> <li>           • ジョブに PostScript エラーが含まれていないことを確認してください。            Command WorkStation、Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を使用するか、オペレータに尋ねてジョブ状況をチェックしてください。これらのアプリケーションでは、PostScript エラーの発生したジョブは赤で表示されます。             PostScript エラーを発見するには、Fiery Spark Pro 「設定」の「PS 設定 : PS エラー発生まで印刷」オプションで「はい」が選択されている必要があります。         </li> </ul>
Fiery Downloader からのフォントのダウンロードに問題がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>           • システム管理者に直接接続が使用可能であることを確認してください。            フォントのダウンロードには、直接接続を使用する必要があります。         </li> </ul>
Fiery Downloader のジョブの後で余分に白紙が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>           • 「showpage の追加」(Mac) または「EPS ファイルに 'showpage' を追加する」(Windows) オプションを「オフ」にしてください。             このオプションは特別な PostScript コマンドを追加し、それが不必要な場合には余分の白紙を印刷する原因となります。         </li> </ul>

## Fiery WebTools 一般の問題

問題	対策
Fiery WebTools へ接続できない、または接続に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fiery Spark Pro 「設定」で Web サービスを使用できるように設定してあることを確認します。</li> <li>• Fiery Spark Pro サーバの IP アドレスおよび DNS 名が、正しく設定してあることを確認します。 Fiery Spark Pro から設定情報ページを印刷するか、またはシステム管理者に確認してください。</li> <li>• キャッシュ (NetScape) または履歴 (Microsoft インターネットエクスプローラ) をクリアしてください。</li> </ul>
Mac OS 対応コンピュータ上の Internet Explorer v5.0 で、Fiery WebSpooler を作動できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Explorer で Java クラスファイル以外への設定が適切にされていることを確認してください。 Internet Explorer v5.0 から Fiery WebSpooler をアクセスするには、Internet Explorer の「編集：初期設定：Java」で「セキュリティオプション」欄の「Java クラスファイル以外へのアクセスを制限する」を無効にしてください。</li> </ul>

# 索引

## A

Adobe Multiple Master フォント 4-8  
Adobe PostScript プリンタドライバ  
  Mac OS 用 2-1  
  Windows 95 用 1-2  
  Windows 98 用 1-2  
  Windows Me 用 1-2  
  Windows NT 4.0 用 1-15, 1-16  
Adobe Type 1 フォント 4-9, B-1  
AppleTalk 2-2

## C

CMYK シミュレーションプロファイル  
  オプション A-9  
CMYK シミュレーション方法 オプシ  
  ョン A-10  
Command WorkStation  
  印刷ジョブの管理 5-1  
  プリントオプションの書き換え 1-  
  6, 1-19, 2-8, A-2

## E

EPS ( Encapsulated PostScript ) ファイル  
  Windows からダウンロード 1-1  
  ダウンロード印刷 4-1  
  ダウンロード問題 C-7

## F

Fiery 最適性能の維持 C-1  
Fiery、動作原理 xiv  
Fiery Downloader 4-2  
  Command WorkStation からの使用  
  4-1  
  EPS ファイル 1-1  
  PDF ファイル 1-1  
  TIFF ファイル 1-1  
  Windows 2000 1-1  
  Windows 95 1-1  
  Windows 98 1-1  
  Windows Me 1-1  
  Windows NT 4.0 1-1  
  欧文 PostScript プリンタフォントの

  管理 4-1

  機能 4-1

  接続タイプ 4-6

  ダウンロード印刷 4-1, 4-4

  ネットワーク接続 4-1

  プリンタの選択 4-2

Fiery Downloader の問題 C-6

Fiery Spooler xi, 5-1

  プリントオプションの書き換え 1-  
  6, 1-19, 1-24, A-2

Fiery WebSpooler 5-1

  プリントオプションの書き換え 1-  
  6, 1-19, 1-24, 2-8, A-2

Fiery WebTools

  「WebLink」 5-1, 5-4

  「WebSpooler」 xi

  アクセス xv

  「状況」 5-1, 5-3

  「プリンタモニタ」 5-1, 5-4

  ホームページ 5-2

Fiery WebTools の問題 C-8

Fiery 印刷タブ 1-3, 1-16

File ポート、ファイルの保存 1-27

## M

Microsoft PostScript プリンタドライバ  
  Windows 2000 用 1-23

## P

PDF (Portable Document Format) ファイル

  Windows からダウンロード 1-1

  印刷 4-6

  ダウンロード印刷 4-1

PostScript

  RIP xiii

  定義 xii

PostScript ファイル

  ダウンロード印刷 4-1

PostScript プリンタ記述ファイル ( PPD  
  ファイル ) xiv, 1-2, 1-15, 1-22, 2-1

PostScript プリンタドライバ xiv

PPD デフォルト設定 A-3

- R
- RGB ソースプロファイルオプション A-7
  - RGB 色分解 オプション A-8
  - RGB 色度座標オプション A-8
  - RIP
    - 定義 xii
  - RIP 処理 xiv
- S
- showpage の追加オプション 4-8
  - SMB 印刷 1-2, 1-15
- T
- TCP/IP 印刷設定 3-1
  - TIFF ファイル
    - Windows からダウンロード 1-1
  - TrueType フォント 4-9, B-6
- U
- UNIX
- BSD 3-2
  - cancel コマンド 3-3
  - lp コマンド 3-2
  - lpq コマンド 3-2, 3-3
  - lpr コマンド 3-2
  - lprm コマンド 3-3
  - lpstat コマンド 3-2
  - Solaris 2.x 3-2
  - SunOS 4.1.x 3-2
  - System V 3-2
  - 印刷 3-1
  - 印刷コマンド (lpr、lpq、lprm) 3-1
- W
- 「WebLink」 WebTool 5-1, 5-4
  - Windows 2000
    - Microsoft PostScript プリンタドライバ 1-22
    - 印刷 1-1, 1-22
    - プリントオプション 1-22
  - Windows 95
    - Adobe PostScript プリンタドライバ 1-2
    - 印刷 1-1, 1-2
    - プリントオプション 1-2
  - Windows 98
    - Adobe PostScript プリンタドライバ 1-2
    - 印刷 1-1, 1-2
    - プリントオプション 1-2
  - Windows Me
    - Adobe PostScript プリンタドライバ 1-2
    - 印刷 1-1, 1-2
    - プリントオプション 1-2
  - Windows NT 4.0
    - Adobe PostScript プリンタドライバ 1-15
    - 印刷 1-1, 1-15
    - プリントオプション 1-15
  - Windows
    - アプリケーションからの印刷 1-1
- あ
- 明るさ オプション 4-7, A-2, A-13
- い
- 色分解の組合せ オプション A-12, A-14
  - 印刷
    - Mac OS コンピュータ 2-1
    - File ポートに 1-27
    - UNIX 3-1
    - Windows 2000 1-22
    - Windows 95 1-2
    - Windows 98 1-2
    - Windows Me 1-2
    - Windows NT 4.0 1-15
    - Windows アプリケーションから 1-1
  - 印刷 / プリント
    - 定義 xiii
  - 印刷キュー 2-3
  - 印刷結果の質の問題 C-4
  - 印刷上の一般的な問題 C-2
  - 印刷接続タイプ
    - 印刷キュー xv
    - 待機キュー xv
    - 直接接続 xv
  - 印刷の向きオプション 1-23
  - 印刷モードオプション A-7

## お

欧文フォント B-1

## か

解像度オプション A-12

拡大縮小オプション A-6

カスタムページ設定 2-5

カスタム用紙サイズ設定

Windows 2000 1-25

Windows 95 1-13

Windows 98 1-13

Windows Me 1-13

Windows NT 1-20

カラーの表現オプション A-8

カラーの問題 C-5

カラーモードオプション A-7

ガンマオプション A-7

## き

給紙方法オプション 2-6, A-5

## し

指示 1-6, 1-19, 2-7

出力プロファイルオプション A-12

「状況」WebTool 5-1, 5-3

状況ウィンドウ 4-2

ショートカット 1-11

ジョブ

定義 xii

ジョブ注釈メモ 1-6, 1-19, 2-7

ジョブ注釈メモ オプション A-13

## す

スクリーンオプション A-12

スプール

定義 xii

スポットカラーマッチング オプション  
A-11

## せ

設定の保存 1-7

セレクタの選択 2-1

## た

待機キュー 2-3

## ち

直接接続 2-3

フォントのダウンロード時に必須  
C-7

## つ

ツールバー

Fiery Downloader 4-2

## て

テキストと画像に純ブラックを使用 オ  
プション A-11デスクトップカラーセパレーション  
(DCS)形式 C-5

ファイル A-14

デフォルトに設定

Mac OS 2-8

Windows 2000 1-27

Windows 95 1-14

Windows 98 1-14

Windows Me 1-14

Windows NT 4.0 1-22

## と

トラブルシューティング C-1, C-2

EPS ファイル C-7

Fiery Downloader の問題 C-6

Fiery WebTools の問題 C-8

印刷結果の質の問題 C-4

印刷上の一般的な問題 C-2

カラーの問題 C-5

トランスファ関数

Adobe Photoshop 4-8

取扱説明書 xiii

トレイ選択 2-6

## は

排紙オプション A-6

白色点オプション A-8

## ふ

ファイルのダウンロード 4-4

ファイルのダウンロード印刷

EPS ファイル 2-9

PDF ファイル 2-9

PostScript ファイル 2-9

- ファイルの保存
    - 外部で印刷時 1-27
  - フォント置き換えテーブル 4-9
  - フォントのダウンロード 4-4
  - 部数オプション 4-7, A-3
  - プリンタ固有オプション 2-8
  - プリンタのデフォルト値 xv
  - プリンタフォントのダウンロード 4-10
  - 「プリンタモニタ」WebTool 5-1, 5-4
  - プリントオプション A-1
    - Mac OS 2-4
    - Windows 2000 1-22
    - Windows 95 1-2
    - Windows 98 1-2
    - Windows Me 1-2
    - Windows NT 4.0 1-15
    - デフォルト設定 A-1
    - プリンタ固有 1-6, 1-19, 1-24
  - プリントオプション設定
    - Mac OS 2-4
    - Windows 2000 1-23
    - Windows 95 1-3
    - Windows 98 1-3
    - Windows Me 1-3
    - Windows NT 4.0 1-16
  - プリント接続タイプ 2-3
- へ
  - ページ指定オプション A-2
  - め
  - メニューバー
    - Fiery Downloader 4-2
  - ゆ
  - ユーザソフトウェア xv
  - よ
  - 用紙サイズオプション 2-5, 1-23, A-4
  - 用紙トレイオプション A-5
  - 用紙の種類オプション A-5
  - り
  - リモートユーザ xii
  - 両面 オプション A-6
  - 両面印刷 A-14
  - ろ
  - ロックアイコン 4-11
  - ロックされているフォント 4-11
  - わ
  - 和文フォント B-1